

第22回

～変わりゆく社会環境のなかで～

三遠南信の特色を活かした
地域発展を目指して

—三遠南信地域連携ビジョンの実現のために—

San-En-Nanshin Summit 2014 in Ensyu

三遠南信
サミット

in 遠州

2014



第22回

三遠南信サミット

2014 in 遠州

資料集

平成26年10月27日(月)

会場/アクトシティ浜松

目次

1 報告

「新SENAについて」	1
-------------	---

2 分科会

(1) 「道」分科会	9
① 「三遠南信自動車道の整備状況について」	11
② 政策の基本方針1「中部圏の中核となる地域基盤の形成」重点プロジェクト	18
③ 第Ⅱ期重点プロジェクト工程表	21
(2) 「技」分科会	27
① 「遠州地域のものづくり産業の現状と中小企業支援について」	29
② 政策の基本方針2「持続発展的な産業集積の形成」重点プロジェクト	35
③ 第Ⅱ期重点プロジェクト工程表	37
(3) 「風土」分科会	41
① 「～祭り街道を活かす活動について～」	43
② 政策の基本方針3「塩の道エコミュージアムの形成」重点プロジェクト	48
③ 第Ⅱ期重点プロジェクト工程表	50
(4) 「山・住」合同分科会	55
① 「浜松市の中山間地域振興」	57
② 政策の基本方針4「中山間地域を活かす流域モデルの形成」重点プロジェクト	64
③ 政策の基本方針5「広域連携による安全・安心な地域の形成」重点プロジェクト	65
④ 第Ⅱ期重点プロジェクト工程表	66

3 参考資料

(1) 三遠南信地域連携ビジョン概要版	71
(2) 三遠南信エリアマップ	78

報 告

資 料



新SENAについて

—さらなる三遠南信地域連携ビジョンの推進に向けて—
平成26年10月27日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議 **SENA**

SENAの目的について

◎SENAの目的

三遠南信地域連携ビジョンのテーマである「三遠南信250万流域都市圏の創造」の実現のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域（三遠南信地域）の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す。

三遠南信地域連携ビジョン

○ビジョンのテーマ

「三遠南信250万流域都市圏の創造」

○ビジョンの政策の基本方針

- (1) 中部圏の中核となる地域基盤の形成
- (2) 持続発展的な産業集積の形成
- (3) 塩の道エコミュージアムの形成
- (4) 中山間地域を活かす流域モデルの形成
- (5) 広域連携による安全・安心な地域の形成

○基本方針に基づく重点プロジェクト

とりわけ重点的に進めるものとして18のプロジェクトを定めた。三遠南信自動車道の整備促進や、三遠南信ビジネスマッチングの促進等



SENAの歩みについて

◎SENAから新SENAへ

平成20年3月 三遠南信地域連携ビジョン策定

平成20年11月 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）発足

平成24年9月 新・連携組織検討委員会発足（第一回委員会）

平成25年10月 新SENAへの移行を決定

平成26年7月 新SENAへ移行



新SENAに移行して

◎新SENAの特徴

1 連携体制の強化

→構成員が一丸となって地域振興(ビジョンの推進)に取り組みます。

2 事業推進体制の強化

→構成員の主体的な参画により力を合わせ、実効的なビジョンの推進を目指します。

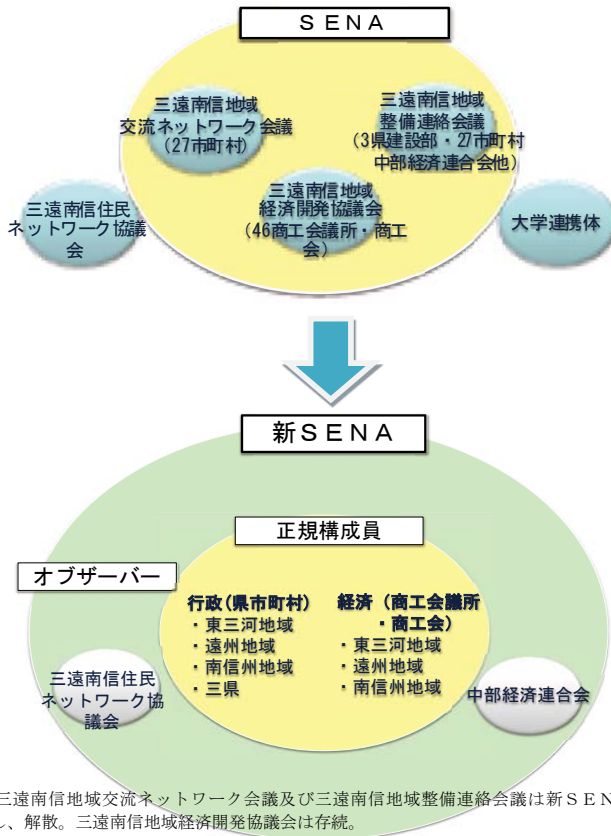
3 広域連合等との協力体制の構築

→自治体により構成される広域連合等と将来的に協力体制の構築を目指します。



～連携体制の強化①～

【SENA構成員の図】



※三遠南信地域交流ネットワーク会議及び三遠南信地域整備連絡会議は新SENAに統合し、解散。三遠南信地域経済開発協議会は存続。

◎既存の広域連携組織の統合による一本化

三遠南信地域交流ネットワーク会議と三遠南信地域整備連絡会議といった、目的や意義が共通している類似団体をSENAへ統合し、効率化を図りました。また、各団体で行われていた事業を引き継ぎました。

◎住民組織等のオブザーバー化

新たに三遠南信住民ネットワーク協議会、中部経済連合会をSENAのオブザーバーに位置付けました。重点プロジェクト等について各団体の専門性を活かし、協力しながら推進することが出来るようになります。



～連携体制の強化②～

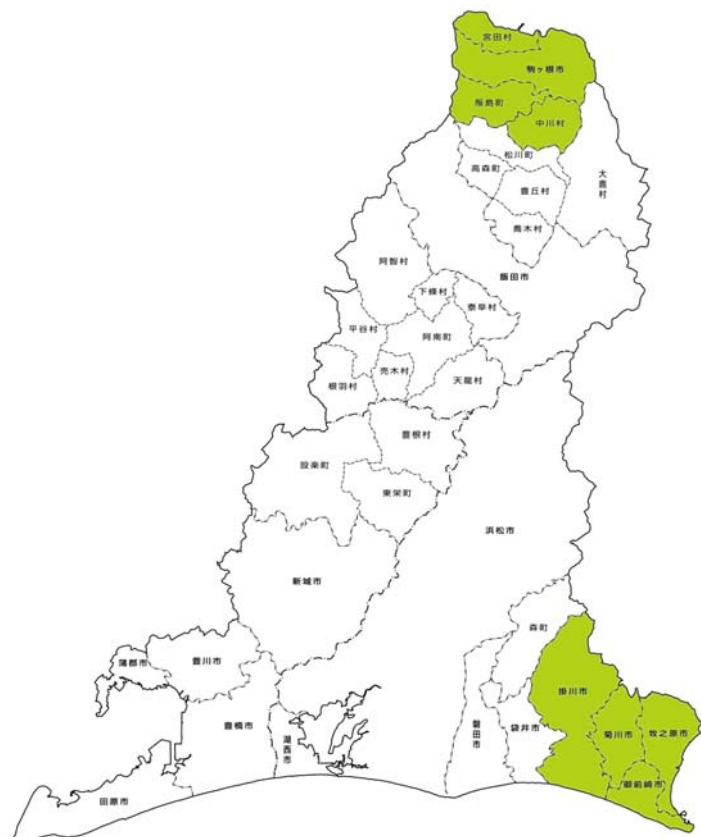
◎旧オブザーバー団体の正規構成員化

SENAにおいてオブザーバー団体であった静岡県の掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市および長野県の駒ヶ根市が 新SENAの正規構成員となりました。

◎新たな団体の加入

長野県の飯島町、飯島町商工会、中川村、中川村商工会、宮田村、宮田村商工会を新たに新SENAの正規構成員として迎えました。

87団体の構成員が一丸となって地域振興に取り組みます。



～新SENA構成員～

地域	行政	経済
愛知県 東三河 地域 (23団体)	愛知県・豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村	豊橋商工会議所・豊川商工会議所・蒲郡商工会議所・音羽商工会・一宮商工会・小坂井商工会・御津町商工会・田原市商工会・渥美商工会・新城市商工会・設楽町商工会・東栄町商工会・豊根村商工会・津具商工会
静岡県 遠州 地域 (27団体)	静岡県・浜松市・磐田市・袋井市・湖西市・森町・掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市	浜松商工会議所・磐田商工会議所・袋井商工会議所・掛川商工会議所・浜名商工会・奥浜名湖商工会・浜北商工会・天竜商工会・湖西市商工会・新居町商工会・磐田市商工会・浅羽町商工会・森町商工会・大須賀町商工会・大東町商工会・菊川市商工会・御前崎市商工会
長野県 南信州 地域 (37団体)	長野県・飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村・駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村	飯田商工会議所・駒ヶ根商工会議所・松川町商工会・高森町商工会・阿南町商工会・阿智村商工会・平谷村商工会・根羽村商工会・下條村商工会・売木村商工会・天龍村商工会・泰阜村商工会・喬木村商工会・豊丘村商工会・大鹿村商工会・飯島町商工会・中川村商工会・宮田村商工会



～事業推進体制の強化～

◎事業部会の設置

三遠南信地域連携ビジョンに掲げる重点プロジェクトを主体的に進めるため、次の3つの事業部会を設置し、構成員の直接の参画のもと具体的な事業を進めます。

・設置する事業部会の種類

- (1) 道路部会
- (2) 産業部会
- (3) 安全・安心部会



事業部会の組織概要

部会名	道路部会	産業部会	安全安心部会
部会長 (平成26年度)	飯田市	浜松商工会議所	豊橋市
部会員数	14市町村 11商工会議所・商工会 3県5部局	6市町村 35商工会議所・商工会 1県1部局	17市町村 6商工会議所・商工会
事業イメージ	三遠南信自動車道の 高規格幹線道路として の全線にわたる早期整 備を働きかける活動と して要望(提言)活動、 調査などの実施等	三遠南信地域の企業 を出展対象者としたビ ジネスマッチングイベ ント(展示会、商談会、 名刺交換会)の開催等	大規模災害時におけ る相互応援実施のた めの調査の実施等



広域連合との協力体制の構築

◎行政団体での広域連合等の検討

平成26年8月に三遠南信地域の市町村において、広域連合等の連携組織の設置について可能性調査を行いました。調査結果をもとに、より議論を深めていく必要があります。

圏域市町村での議論を注視し、将来的な両組織の協力体制の構築を目指します。





<http://www.sena-vision.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
(SENA : San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference)



分科会

資料

《鳳来峡IC》

三遠南信自動車道の整備状況について

《浜松いなさJCT》

平成26年10月27日

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所

1. 三遠南信自動車道の概要
2. 三遠南信自動車道の整備状況
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果

1. 三遠南信自動車道の概要

《三遠南信自動車道とは》

三遠南信自動車道(一般国道474号)は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約100kmの高規格幹線道路であり、中央道、新東名と連絡し、**地域間の連携強化、奥三河、遠州、南信州地域の秩序ある開発、発展に大きく寄与する重要な路線。**

■三遠南信自動車道 進捗状況

飯喬道路

- ・工事・用地買収推進中
(飯田東IC~龍江IC 平成29年度開通予定)

青崩峠道路

- ・工事推進中

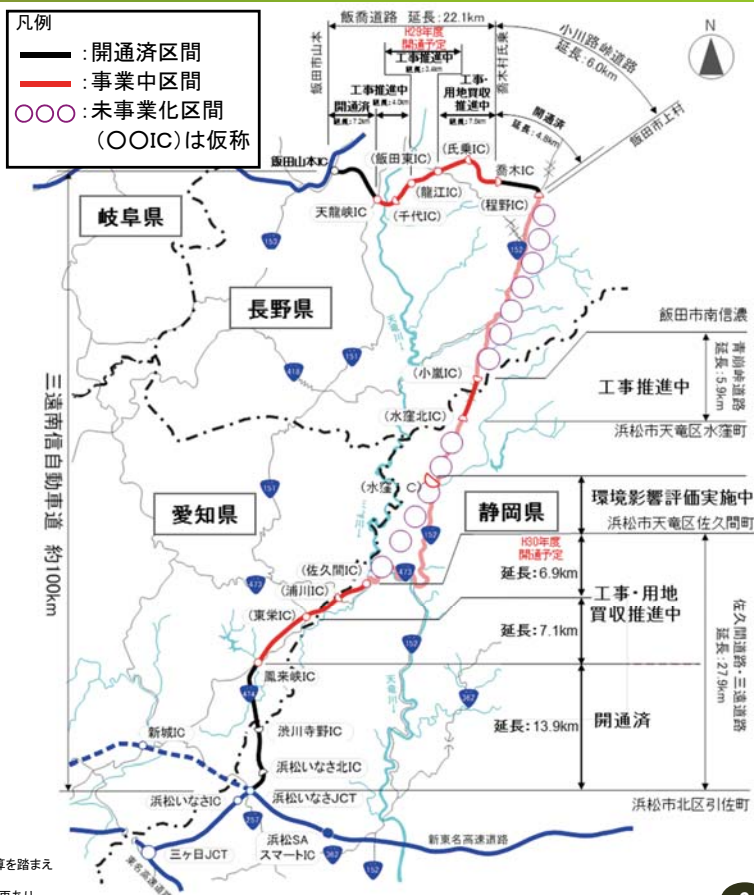
水窪~佐久間

- ・環境影響評価実施中

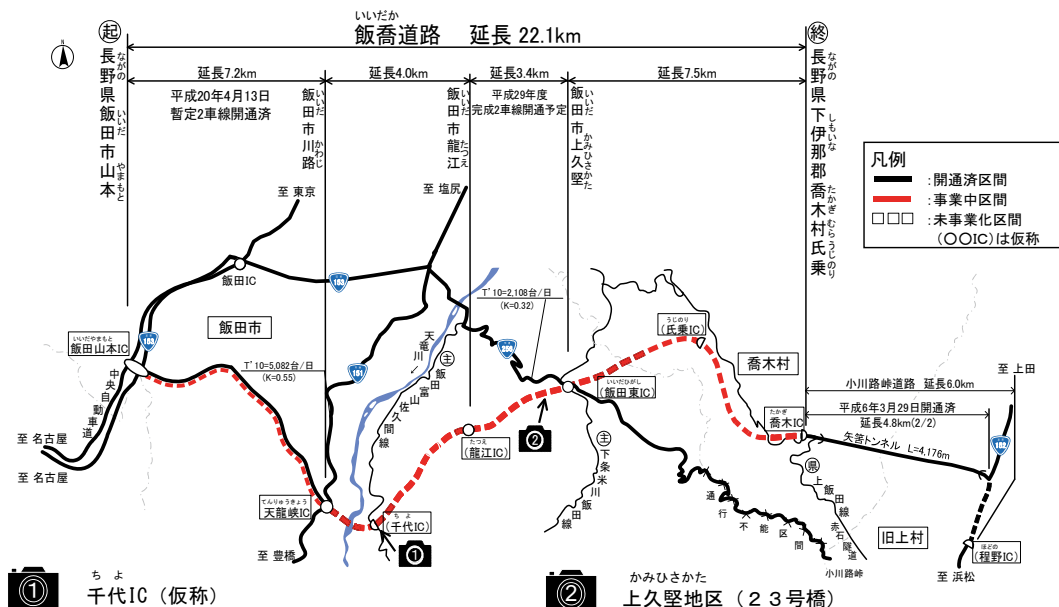
佐久間道路・三遠道路

- ・工事・用地買収推進中
(佐久間IC~東栄IC 平成30年度開通予定)

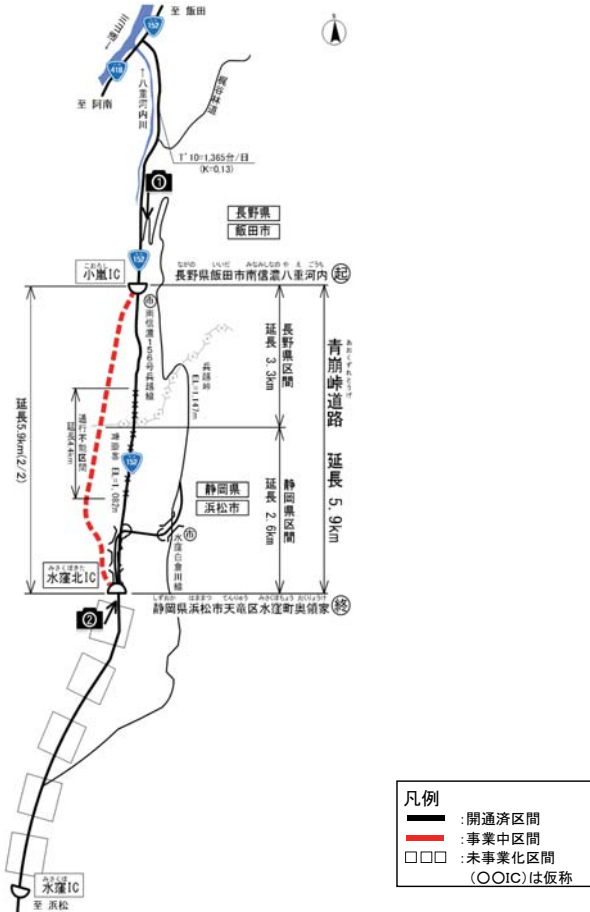
<開通の見通し>
 ・用地取得に一定の進捗が見られるなど、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った事業について、平成26年度予算を踏まえた開通の見通しを公表。
 ・本開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変更等により、変更あり。



2. 三遠南信自動車道の整備状況 (飯喬道路)



2. 三遠南信自動車道の整備状況（青崩峠道路）



① 工事用道路



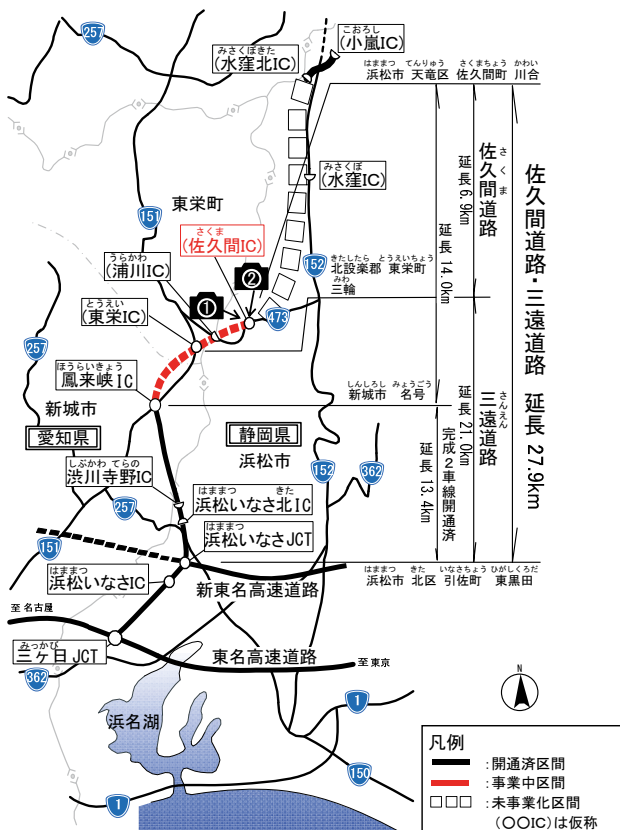
② 調査坑（静岡県側）



H26.9月撮影

4

2. 三遠南信自動車道の整備状況（佐久間IC周辺）



① 佐久間IC（仮称）付近



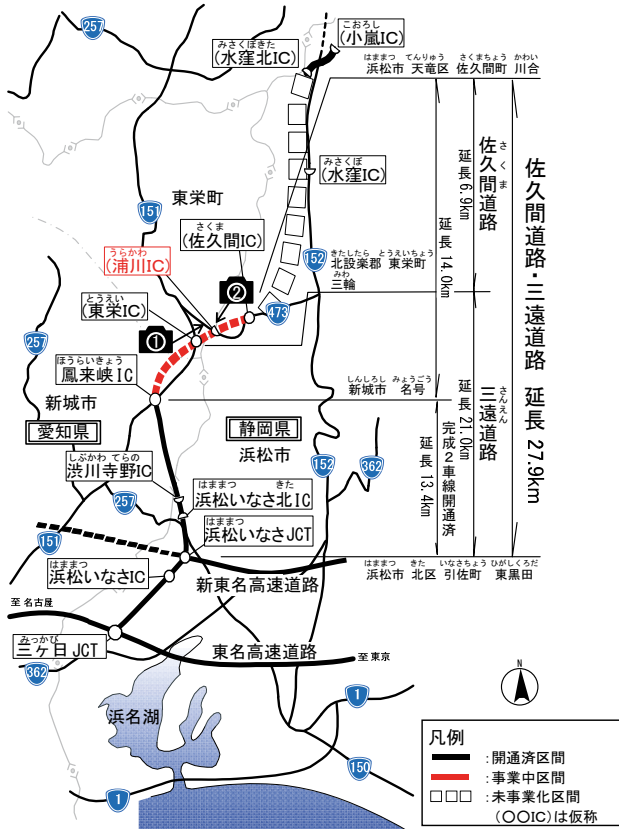
② 佐久間IC（仮称）付近



H26.9月撮影

5

2. 三遠南信自動車道の整備状況（浦川IC周辺）



①

浦川IC（仮称）付近



②

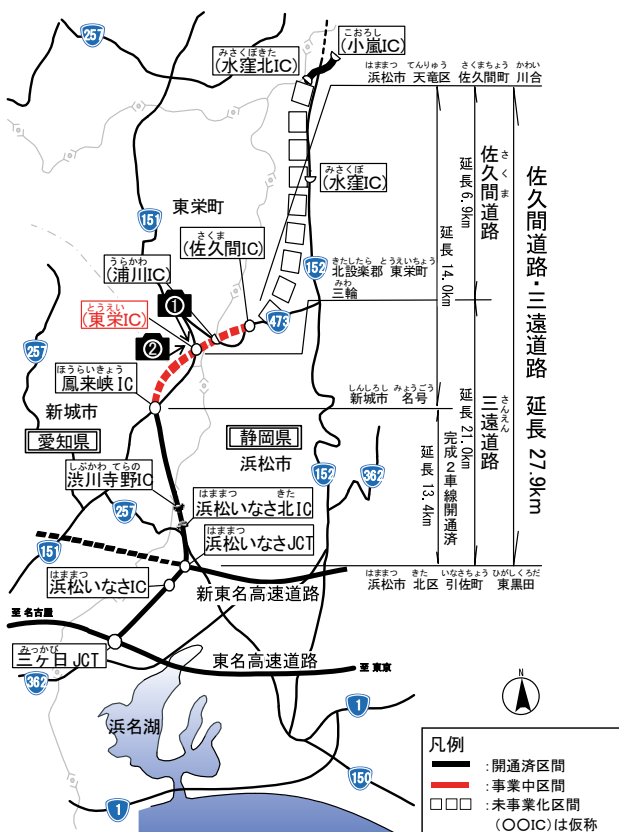
浦川IC（仮称）付近



H26.9月撮影

6

2. 三遠南信自動車道の整備状況（東栄IC周辺）



①

東栄IC（仮称）付近



②

東栄IC（仮称）付近



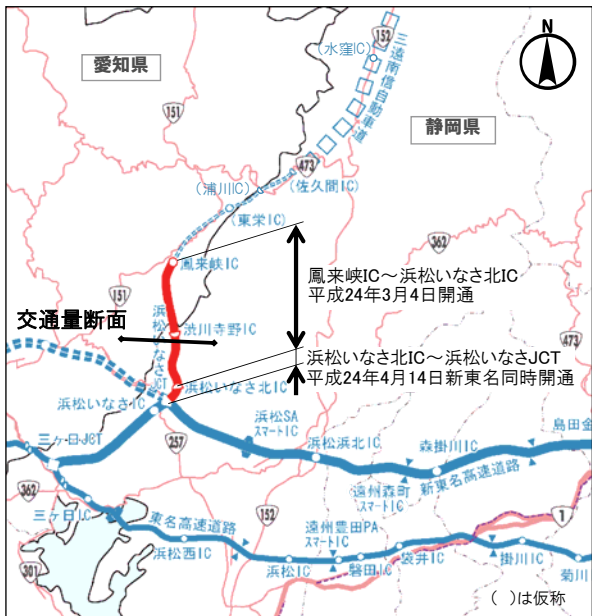
H26.9月撮影

7

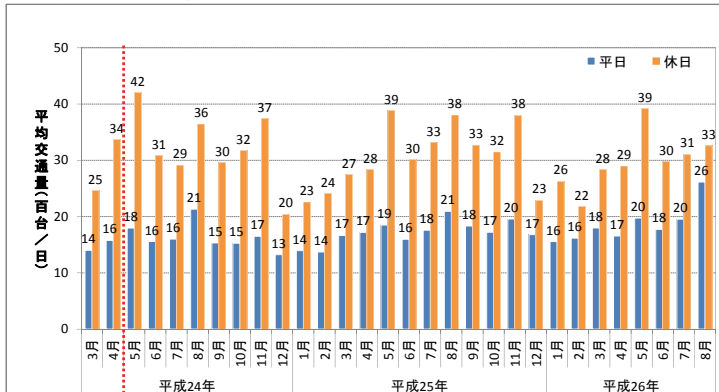
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(交通量)

- 三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)交通量は、**平日約17百台/日、休日約31百台/日**で推移。
- 特に、5月(GW)、8月(お盆)、11月(紅葉シーズン)の**休日の交通量が多く、沿線地域の観光振興に寄与している**と考えられる。

■位置図



■交通量の推移



平成24年4月14日
新東名開通

新東名開通後
平均交通量
平日:約17百台/日
休日:約31百台/日

出典:国土交通省データ
平成24年3月4日(日)
～平成26年8月31日(日)

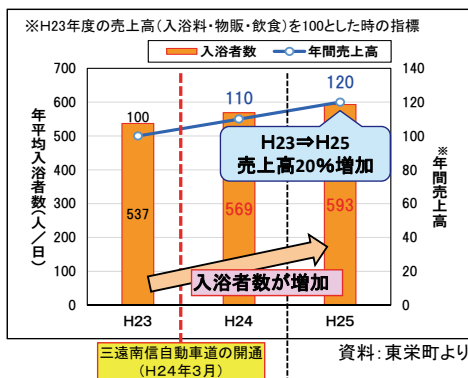
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(観光・交流)

- 三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさJCT)の開通後、愛知県東栄町の「とうえい温泉」の**入浴者数が増加**。
- 「とうえい温泉」では、開通に伴う入浴者数の増加を契機に、**温浴施設のリニューアルを実施**。入浴者数は更に増加し、**相乗効果による地域活性化が促進**。

■来場者で賑わうとうえい温泉の様子



■とうえい温泉入浴者数及び売上高の推移

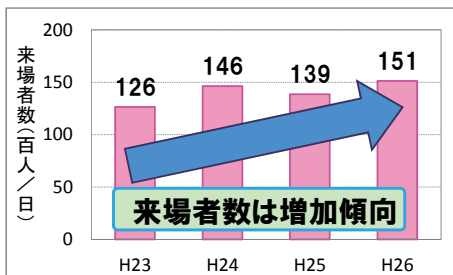


平成25年4月20日
リニューアルオープン
【改修内容】
●休憩棟増築(休憩室2室増設、カラオケルーム2室設置等)
●野天風呂改修(源泉掛け流し風呂・寝湯を設置)

3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(観光・交流)

○愛知県北設楽郡豊根村の茶臼山高原で開催される「芝桜まつり」は、**例年多くの来場者で賑わっており、三遠南信自動車道(鳳来峡IC～浜松いなさJCT)の開通後、来場者数は増加傾向。**

■芝桜まつりの来場者数 (H23～H26)



データ: 施設管理者提供データ
※まつり開催期間中の休日平均(雨天を除く)



茶臼山高原 芝桜まつり会場 (愛知県北設楽郡豊根村)



3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(医療・福祉)

○愛知県北設楽郡東栄町では、地域の病院では対応できない患者を都市部(浜松・豊橋等)の大病院に搬送。
○三遠南信自動車道を利用することで、**所要時間が約10分短縮されるとともに、走行性の向上により、搬送患者の負担軽減に繋がっている。**

■救急搬送ルートの変化



【開通前】	
東栄病院	国道151号 → 豊川市民病院 (約57分)
	→ 豊橋市民病院 (約62分)
	→ 豊橋ハートセンター (約68分)
国道151号、257号 → 浜松医大病院 (約70分)	
【開通後】	
東栄病院	三遠南信 → 東名 → 豊川市民病院 (約48分) 9分短縮
	→ 豊橋市民病院 (約55分) 7分短縮
	→ 豊橋ハートセンター (約61分) 7分短縮
	三遠南信 → 東名 → 浜松西IC → 浜松医大病院 (約53分) 17分短縮

※()内の所要時間はヒアリング結果より実績値。但し、豊橋ハートセンターまでは、豊橋市民病院までの実績値をベースに民間プローブデータより算出。浜松医大病院は民間プローブデータから算出。

新城市消防本部の声

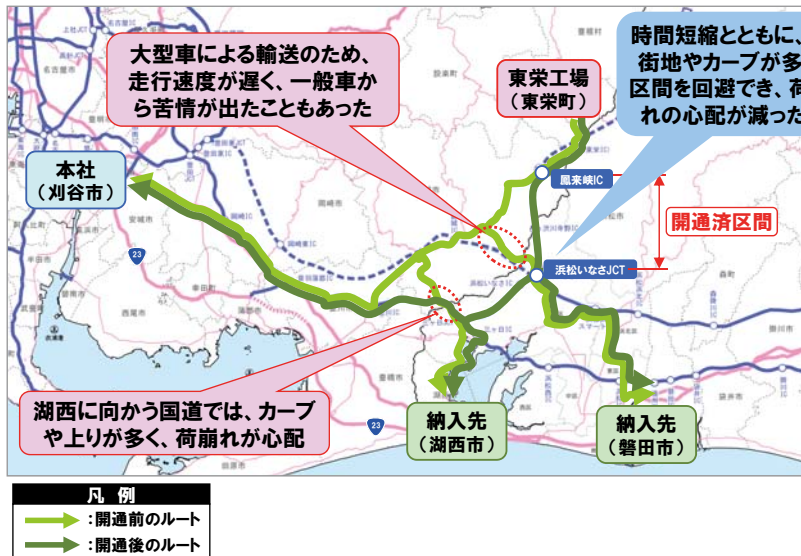
開通以降、東栄病院から豊川市民病院や豊橋市民病院への搬送では、状況に応じて三遠南信・新東名を利用しています。
開通前に比べて**所要時間が約10分短縮したとともに、走行性が向上し患者さんや運転手の運転時の負担軽減にも繋がっています。**



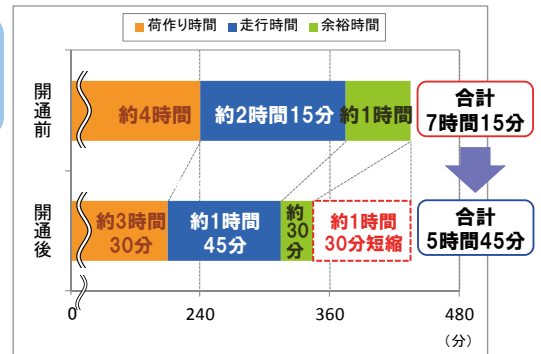
3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(産業)

- 愛知県北設楽郡東栄町にある企業では、湖西市や磐田市等、太平洋岸の企業と取引を行っているが、**所要時間や走行性に課題**を抱えていました。
- 三遠南信自動車道の開通後、走行時間の短縮のみならず、**荷崩れの心配が減ること**で梱包にかかる時間も削減でき、輸送の大幅な効率化に貢献しています。

■東栄町からの輸送経路の課題と開通効果



■湖西方面への輸送時間 (11トン車での輸送時)



A社(東栄工場)工場長の声

輸送時間が読めることから、**余裕時間を半減**でき、荷崩れの心配が減ったことで**梱包にかかる時間が削減**されるなど、**輸送の大幅な効率化**が実現しました。

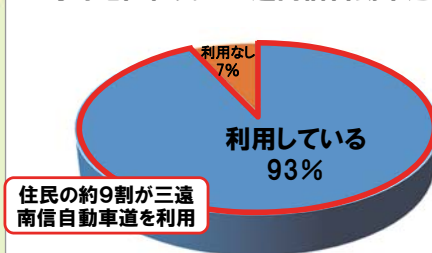
出典: 企業ヒアリングより

3. 三遠南信自動車道開通の整備効果(生活)

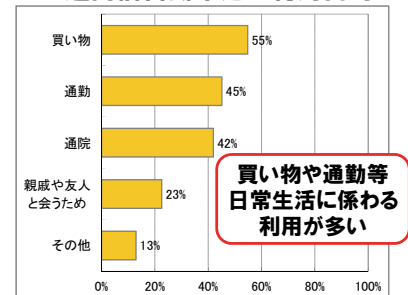
- 浜松市北区渋川の寺野地区では、三遠南信自動車道開通後、**住民の約9割が三遠南信自動車道**を利用しており、**買い物や通勤等日常生活を支える道路**となっています。
- また、日常生活だけでなく**緊急時の安心感が向上**するなど、沿線住民の**安心して快適な生活環境**づくりに貢献しています。



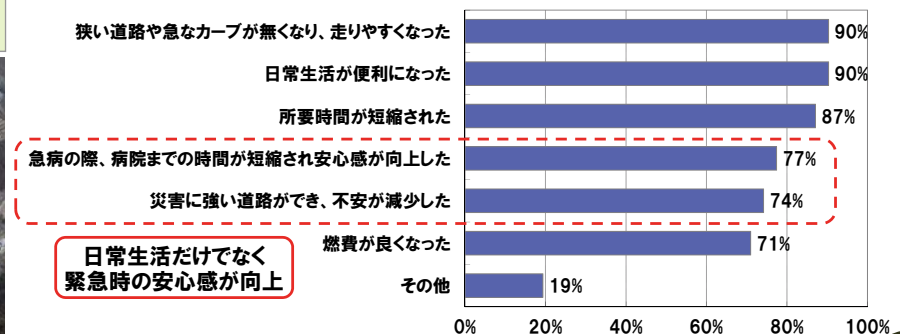
■寺野地区住民の三遠南信自動車道利用率



■三遠南信自動車道の利用目的



■開通後に感じた効果(複数回答可)



寺野地区住民アンケート(H25.1 国土交通省実施)結果

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道23号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道150号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	1				
区分	道				
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成				
項目	1-①				
推進方針	三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現 ※平成20年3月策定三遠南信地域連携ビジョンより				
主要施策	三遠南信250万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現に向けた取り組みを推進します。 ※平成20年3月策定三遠南信地域連携ビジョンより				
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153	
工程表	期成同盟会等を通じた国等への働きかけ 三遠南信自動車道：鳳来IC 一引佐JCT間H24.3.4開通 三遠南信自動車道 現道区間：国道152号 向井万場 拡幅（豆嵐橋、豆嵐トンネル）H23.7.3開通	三遠南信自動車道の早期全線開通を目指し働きかけ			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動（中部地整H23.12.13、H24.7.17、H25.7.11、H26.8.11）（本省H20.7.28、H25.7.31、H25.11.14、H26.7.7） ○三遠南信道路建設促進期成同盟会（3県・市町村）による国土交通省等への要望活動（H21.6.15、H21.12.1、H22.6.4、H22.12.14、H22.12.17、H23.6.14、H23.6.22、H23.12.12・15、H24.7.18、H24.12.19、H25.6.12、H25.12.12、H26.6.16、H26.6.27） ○三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動（H21.6.23、H22.11.16、H23.6.28、H24.8.31、H25.8.21） ○三遠南信道路建設促進遠州地域期成同盟会による要望活動（H21.6.23、H22.6.4、H23.7.7、H24.7.27、H25.7.19、H25.7.22、H26.7.7、H26.7.29） ○三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会による国土交通省等への要望活動（H21.6.25、H22.6.24、H23.6.28・29、H24.6.28・29、H25.6.26・27、H26.7.2・3） ○三遠南信地域経済開発協議会の三遠南信自動車道早期開通キャンペーン（H21.9.9） ○3市（浜松・豊橋・飯田）による国土交通省への要望活動（H21.10.27、H22.12.3） ○三遠南信自動車道早期開通期成同盟会による要望活動（H21.12.2、H21.12.3、H22.12.16、H23.11.17、H25.1.17、H25.12.19） ○飯島道路3工区建設促進期成同盟会の設立（H23.6.2） ○浜松市による国への国債借入れによる早期事業化の要望活動（H23.7.7、H24.3.29、H24.8.10、H25.2.14、H25.4.12、H25.8.5、H25.11.12、H26.6.27） ○飯田商工会議所による国土交通省への要望活動（H23.8.25、H24.10.12、H25.2.12、H25.5.9、H25.11.8、H26.6.10） 				
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> < 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会 > < 商工会議所・商工会、自団体 > 				

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	2		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-②		
推進方針	三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実		
主要施策	国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した（シームレス）ネットワークを形成します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 協議会等を通じた国への働きかけ	協議会等を通じた国等への働きかけ 地域の回遊性などを高め、受け入れ態勢の整備	↑ 平成26年度 20144~20153
実施内容	<p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 (H21.6.23) (H22.11.16) (H23.6.28) (H24.8.31) (H25.8.21)</p> <p>○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25) (H23.10.28) (H24.7.31)</p> <p>○国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.1, H22.7.6, H23.8.18, H24.7.25, H25.8.7, H26.7.17)</p> <p>○名豊道路建設推進協議会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25, H23.8.17, H23.10.28, H24.7.31, H25.7.11, H26.7.24, H26.8.6, H26.8.11)</p> <p>○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 (H21.7.6, H21.7.8, H22.8.25, H23.8.17, H24.7.17・31, H25.7.11, H25.7.31, H26.7.24, H26.8.6, H26.8.11)</p> <p>○三河港振興会による整備促進等の要望活動 (H21.6.30, H21.7.8, H21.10.5, H22.2.2, H22.4.19, H22.7.26, H23.5.11, H23.7.7, H24.5.15・16, H24.7.11, H24.10.5, H25.1.21, H25.2.15, H25.5.31, H25.6.4, H25.7.31, H25.10.7, H25.11.14, H25.11.14, H26.2.7, H26.5.27, H26.7.2, H26.8.6)</p> <p>○静岡県西部8市長による静岡県への要望活動 (H22.1.4)</p> <p>○遠州地域御前崎港利活用促進協議会による国土交通省への要望活動 (H22.4.28)</p> <p>○御前崎港整備促進期成同盟会、御前崎振興会による国土交通省への要望活動 (H23.2.7, H24.2.15, H25.2.6, H26.2.6)</p>		
推進主体	<p>< 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会 ></p> <p>< 商工会議所・商工会、自治体 ></p>		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	3		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1ー③		
推進方針	リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置		
主要施策	リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	事業促進に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ (関係機関との連携)	早期開業に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ (関係機関との連携)	平成26年度 20144~20153
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○第17回三遠南信サミット2009 in 東三河のサミット宣言において「新たな東西軸を形成するリニア中央新幹線飯田駅の設置に向けて、SENAを中心に、地域一丸となって提案活動を進める。」と宣言 (H20~) ○飯田市によるリニア中央新幹線飯田駅整備推進基金設置 (H22.4~) ○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会 (以下「同盟会」) によるリニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会 (H22.5.8) ○同盟会によるJR東海との面談及び要望書の提出 (H23.6.9) ○リニア中央新幹線建設促進長野県協議会による国土交通省への要望書提出 (H23.7.13) ○同盟会による環境影響評価方法書への意見提出 (H23.11.10) ○地域内各団体による環境影響評価準備書に対する意見提出 (パブリックコメント) (H25.11.5) ○南信州広域連合、関係自治体による環境影響評価準備書に対する県知事への意見提出 (H26.1.9) ○環境影響評価準備書に対する長野県知事意見書をJR東海に提出 (H26.3.20) ○環境影響評価準備書の長野県知事意見書に関する意見提出 (H26.5.9) ○南信州広域連合、木曾広域連合、上伊那広域連合による環境影響評価書に関する要望書を長野県知事に提出 (H26.5.12) ○長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を環境大臣に提出 (H26.5.13) ○長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を国土交通大臣に提出 (H26.6.16) 		
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> < 期成同盟会、商工会議所・商工会、自治体 > 		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	4		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-④		
推進方針	豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進		
主要施策	浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 路線整備の推進 期成同盟会等による国への働きかけ	● 道路整備方針・スマートインター設置・浜名湖ゾーン活用方法（交流・居住など）の検討・研究	平成26年度 20144~20153
実施内容	<p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動（H21.6.23）（H22.11.16）（H23.6.28）（H24.8.31）</p> <p>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動（中部地整H23.12.13、H24.7.17、H25.7.11、H26.8.11）（本省H20.7.28、H25.7.31、H25.11.14、H26.7.7）</p> <p>○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会の要望活動（H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25）（H23.10.28）（H24.7.31）</p> <p>○名豊道路建設推進協議会による要望活動（H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17、H23.10.28、H24.7.31、H25.7.11、H26.7.24、H26.8.6、H26.8.11）</p> <p>○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動（H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17、H24.7.17・31、H25.7.11、H25.7.31、H26.7.24、H26.8.6、H26.8.11）</p> <p>○新東名高速道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 御殿場JCT-引佐JCT間（H24.4.14開通） 平成27年度 浜松いなさJCT-豊田東JCT間 開通予定</p> <p>○引佐連絡道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 浜松いなさJCT-三ヶ日JCT間（H24.4.14開通）</p>		
推進主体	＜ 自治体、商工会議所・商工会 ＞		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	5		
区分	道		
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成		
項目	1-⑤		
推進方針	県境を越えるマスコミの連携		
主要施策	三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143 平成26年度 20144~20153
工程表	● 情報提供の継続		● 三遠南信地域のマスコミによる意見交換、情報交換形態の検討
実施内容	<p>○「エフエムHaro」・「エフエム豊橋」・「エフエムIEM」3局合同番組の放送（H14~H17）</p> <p>○テレビ局関係者とのメディア連携に関する意見交換（H22.4.27）</p> <p>○中日新聞「三遠南信紀行」への情報提供（平成20年度5回、平成21年度6回、平成22年度4回、平成23年度5回）</p> <p>○中日新聞による「東三河・南信」レターの新聞掲載（毎週日曜日）</p> <p>○南信州新聞による「三遠南信見聞録」の新聞掲載（毎月）</p> <p>○信濃毎日新聞社による「三遠南信をテーマとした連載」（随時）</p> <p>○浜松市・豊橋市・飯田市広報紙による情報掲載（毎月）・合同企画（2年に1回:H22.3、H24.3、H26.2）</p>		
推進主体	<p>＜ 自治体、商工会議所・商工会、新聞社、テレビ・ラジオ放送局 ＞</p> <p>マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会などと意見交換を行い、連携活動を検討します。</p>		



分科会

資料

『遠州地域のものづくり産業の現状と 中小企業支援について』

平成26年10月27日(月)

浜松市産業部長 安形秀幸



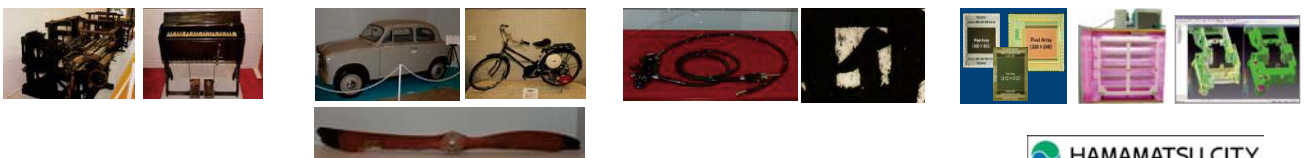
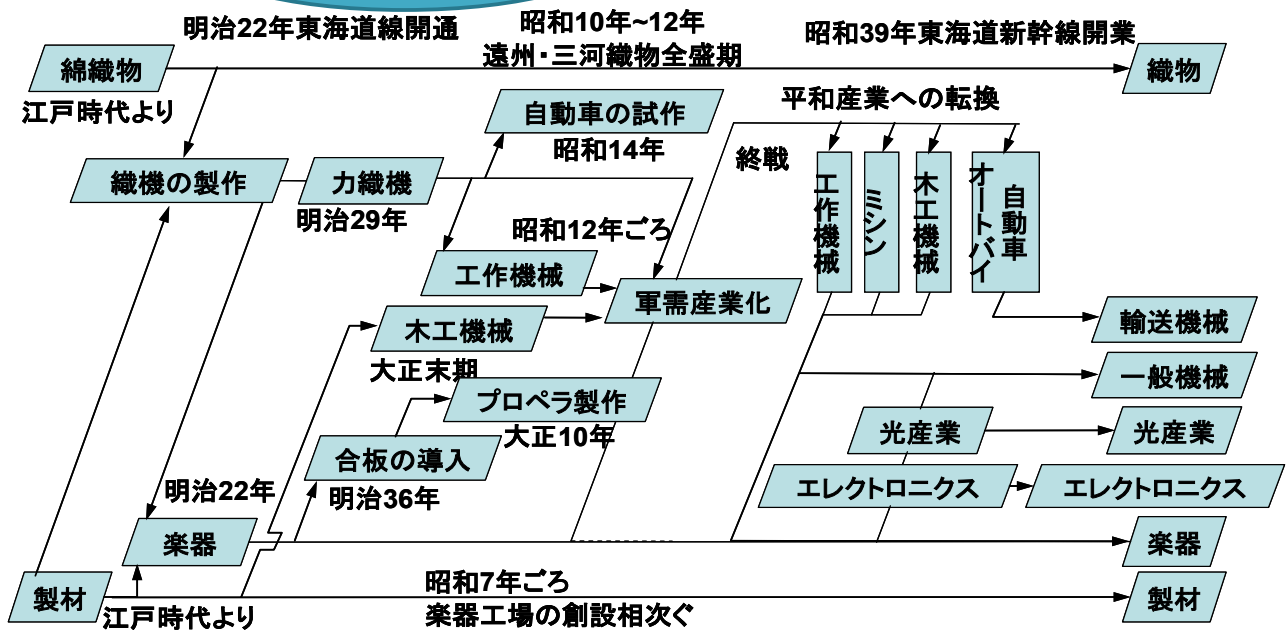
出世の街 浜松



浜松地域の産業発展の系譜

鉄道院浜松工場
大正元年(1912)

浜松のものづくり産業の礎



遠州地域の産業の状況

輸送用機器を中心とした製造業が集積

遠州地域8市1町の合計
 ※平成24年度 工業統計調査
 () 書きは平成25年度の速報値

事業所数 4,340事業所 (4,130事業所)

- ① 輸送用機器 811事業所
- ② 金属製品 485事業所
- ③ 生産用機械器具 449事業所

従業者数 186,865人 (185,359人)

- ① 輸送用機器 63,475人
- ② 電気機械器具 21,206人
- ③ プラスチック製品 11,673人

製造品出荷額等 8兆2,049億円 (8兆1,388億円)

- ① 輸送用機器 3兆4,766億円
- ② 電気機械器具 1兆77億円
- ③ 飲料・たばこ・銅料 7,844億円

※遠州地域をまとめると、豊田市に次ぐ規模



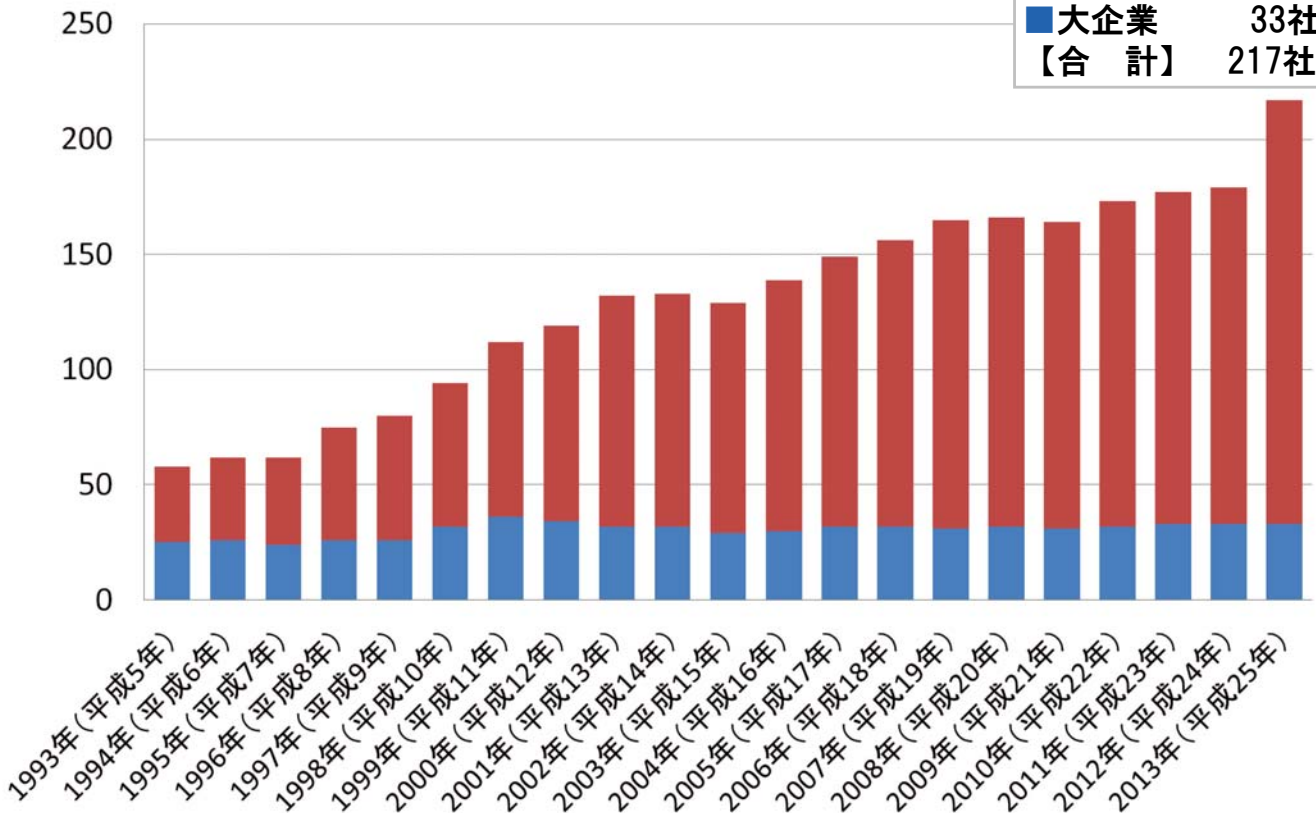
【参考】市町村上位3傑（製造品出荷額）

順位	市町村	製造品出荷額
1	豊田市	120,888億円
2	市原市	42,851億円
3	横浜市	42,736億円
※参考		
14	浜松市	20,852億円
21	磐田市	17,215億円
23	湖西市	16,838億円

HAMAMATSU CITY

遠州地域企業の海外展開の状況

2013年（平成25年）
 ■ 中小企業 184社
 ■ 大企業 33社
 【合計】 217社

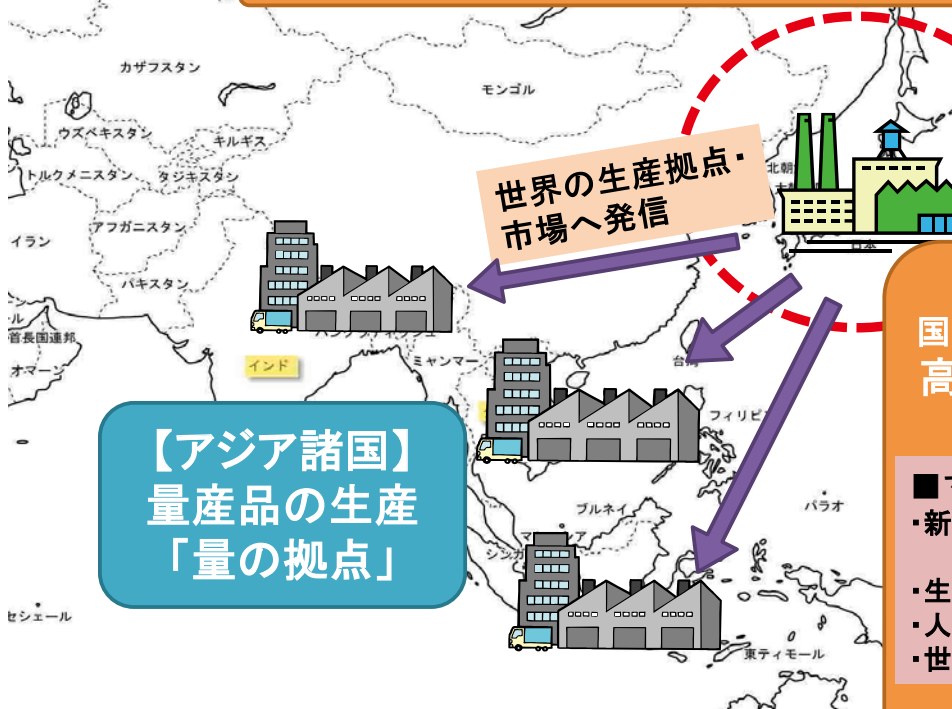


資料：静岡県西部地域しんきん経済研究所

HAMAMATSU CITY

地域産業の空洞化、対応策

【課題】 国内生産の頭打ち、新たな成長市場の創出



【日本国内】
国内消費財の生産(低コスト)
高付加価値製品の生産
マザー機能

- マザー機能の内容
- ・新たな付加価値の創造
研究開発、市場の検討
 - ・生産技術の確立、シミュレーション
 - ・人材育成、技能伝承
 - ・世界の生産拠点・市場への発信

※国内外の情報集約

経営戦略	企画・マーケティング	研究開発	製品開発
生産技術	試作	設計	人材育成

【日本国内】新成長市場の創造、
受注の拡大 ※重要！

浜松市の取組み(はままつ産業イノベーション構想)

Welcome to Hamamatsu.

戦略① これからの成長市場・新産業の創出

成長6分野への重点支援

- 次世代輸送用機器産業、健康・医療産業、新農業、光・電子産業、環境・エネルギー産業、デジタルネットワーク・コンテンツ産業を新リーディング産業に位置付け
- 研究開発費の助成

—構想の目標—
産業イノベーション都市・はままつ



産業支援の3本の矢

- ①新産業の創出
- ②企業立地支援
- ③海外進出支援

戦略② オープン・イノベーションの推進

地域内外の様々な資源の結集による
オープン・イノベーション

- 浜松・東三河ライフフォトニクス・イノベーションの推進
- 浜松医工連携拠点の推進

戦略③ 企業力向上支援

企業の経営資源の強化を支援

- 海外展開支援
ジェトロ浜松の誘致、海外進出FS調査、海外見本市への出展など
- 人材育成事業、研究会活動
新素材(CFRP・チタン)活用など
- 知的財産活用
- 資金調達支援
融資制度、地域ファンドなど

戦略④ 企業立地支援

戦略的な外発型の企業誘致

- 新・ものづくり特区の推進
農業と工業のバランスある土地利用の実現
- 企業立地に対する大型助成
用地取得や設備投資に対する助成
固定資産税等への助成

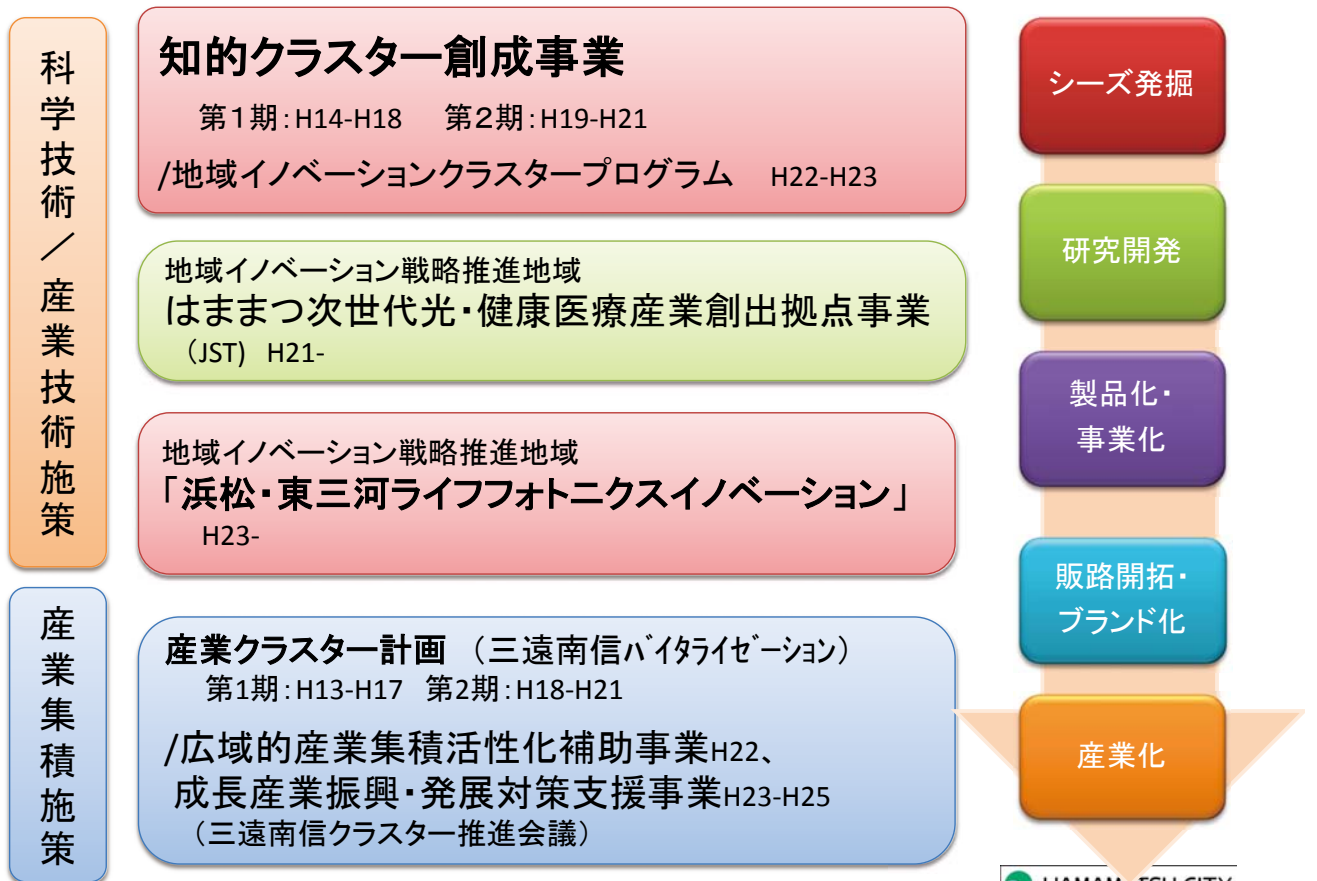
県境を越えた三遠南信広域連携

>Welcome to Hamamatsu.



三遠南信地域で取り組んできた広域連携事業

>Welcome to Hamamatsu.



地域の取り組みから生まれた事業化例 ①

医工連携、知的クラスター創成事業の現場から生まれた製品事例

Welcome to Hamamatsu.



鼻科専用 内視鏡手術用ナビゲーション装置

「安全で確実な内視鏡手術を実現したい」という医療ニーズから、文部科学省知的クラスター創成事業(第1期)のテーマとして産学連携による研究開発を開始。浜松医科大学の他、(株)アメリオの「優れた3次元形状処理・通信制御ソフト技術」とパルステック工業(株)の「3Dスキャナ製造技術」との連携により経済産業省の支援を受け具体化し、販路とニーズを有する東京都の医療機器メーカーの永島医科器械(株)が製品化。光学式3次元スキャナによる計測で自動的な位置合わせと、患者に標識を付けなくても動きに追従する、世界初の内視鏡手術ナビゲーション装置。

デジタル喉頭ストロボ



浜松医科大学と(株)エヌエスティー、(株)ソディアック、医療機器メーカーの永島医科器械(株)が、経済産業省の支援を受け、共同で開発。音と光制御の技術を活用し、人体で最も速く動く声帯の動きを録画し、評価できる喉頭観察内視鏡システム「デジタル喉頭ストロボ光源」を製品化。喉頭観察内視鏡システムは、声のかすれや発生困難など音声障害の治療を行なう「耳鼻咽喉科の音声外来」などで使用されるもので、1秒間に100回以上の周期(100ヘルツ以上)で振動する声帯の動きを観察できる品質が要求されるもので今後は、低価格でコンパクトな普及型製品として、耳鼻咽喉科などの診療施設への導入が期待される。

HAMAMATSU CITY

地域の取り組みから生まれた事業化例 ②

浜松市の研究開発費の助成の成果から生まれた製品事例

Welcome to Hamamatsu.



マルチマテリアル超軽量車いすの開発

二輪車のまち・浜松市のものづくり技術と、新素材事業化研究会で開発された新技術の融合により、マルチマテリアル(軽量強度部材)素材を活用した世界最軽量の車いすを橋本エンジニアリング(株)が開発した。メインフレームには、成形や加工が困難なマグネシウム材を採用。表面処理も施した。世界最軽量5.1kgを達成した。



塗装色色違い検査装置

高解像度センサによる高速高解像度測定により、人目が感じる色と同様に色を認識することができる。今まで目視検査で実施をしていた自動車メーカーの塗装色の検査において、従来のカメラでは不可能であった正確な色の再現と微妙な色の違いを識別、定量化する検査装置を開発した。本技術の開発により、ダイハツ工業株式会社より「ものづくり技術賞」を受賞した。

HAMAMATSU CITY

遠州地域での広域連携 (遠州広域行政推進会議研究会での検討事項案)

遠州広域行政推進会議(8市1町)で経済・産業政策の研究会を立ち上げ、今後検討を進める。Welcome to Hamamatsu

■ 検討テーマ案

① 地域企業への支援

人材育成

- 産業人材の育成

企業活動支援

- 知的財産活用支援
- 防災対策支援
- 研究開発支援
- 創業支援、ベンチャー企業支援

販路開拓 (海外販路含む)

- 展示会・見本市の開催
- 中小企業のマッチング支援
- 地域企業情報の発信・PR

情報発信

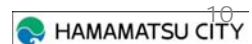
- 各種産業支援情報の発信

② 行政間の連携

自治体連携

- 職員間の情報交換
- 情報の共有化
- 地域産業の分析
- 国、県への提言
- 市町の産業振興担当職員の人材育成

※遠州広域行政推進会議とは、
⇒遠州地域の8市1町による会議
首長による会議のほか、連携テーマを決めて、
担当部局同士の研究会などを展開
今年度は、産業政策と公共交通がテーマ



浜松市での取組み (広域連携に結びつく可能性のある事業)

① 地域企業への支援

※各市町の状態を報告し、広域連携事業を検討を始めた段階 (遠州広域)

Welcome to Hamamatsu

	項目	実施内容
人材育成	産業人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 中核人材育成事業、新素材・新成形技術講座等 (イノベ機構事業(市委託)) レーザー中核人材育成事業(光創成大、市) 組み込みソフト技術コンソーシアム(静大、市) 光産業創成プロデューサー育成事業(地域戦略事業)
	知的財産活用支援	<ul style="list-style-type: none"> 知財相談、知的活用講演会等(イノベ(市委託)) はままつ知財研究会
	研究開発支援	<ul style="list-style-type: none"> 新産業創出事業費補助金(市) 新素材(チタン、CFRP等)研究会(イノベ(市委託)) 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点
	創業支援、ベンチャー支援	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援総合窓口の設置、起業セミナー・サロンの開催 (イノベ、市) インキュベーション施設入居者支援
	販路開拓	展示会・見本市の開催
マッチング支援		<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターによるマッチング支援、展示会出展費補助 (イノベ(市委託))

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高め、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

【活動イメージ】

- 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。また、地域金融機関のサミットを開催します。
- 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

【推進主体とその活動】

- 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

【活動イメージ】

- 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

【推進主体とその活動】

- 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

【活動イメージ】

- 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

【推進主体とその活動】

- 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

【活動イメージ】

- 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

【推進主体とその活動】

- 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	6		
区分	技		
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成		
項目	2-①		
推進方針	三遠南信ビジネスマッチングの促進		
主要施策	三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 地域金融機関による連携事業の実施		平成26年度 20144~20153
	● 経済団体によるビジネスマッチング事業の実施	● 情報交換・発信機会の設置 企業交流の実施	
実施内容	<p>○三遠南信3シンクタンク連携協定 (H21.5.23)</p> <p>○ビジネスマッチングフェアinHamamatsuの開催 (H21.7.22、H22.7.21・22、H23.7.20・21、H24.7.24・25、H25.7.23・24)</p> <p>○三遠南信(8信金)しんきんサミット&しんきん物産展 (H21.10.6、H22.11.13、H23.10.22、H24.9.15、H25.11.3)</p> <p>○平成21年度広域地方計画先導事業「商品評価会」(H22.3.12)</p> <p>○合同人脈・販路拡大交流会 (H21.7.22、H22.7.22、H23.7.21、H24.7.24、H25.7.23、H26.7.24)</p>		
推進主体	<p>< 商工会議所・商工会、自治体、金融機関、企業 ></p> <p>浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。</p>		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	7
区分	技
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成
項目	2-②
推進方針	国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
主要施策	「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。
年度	平成23年度まで 20094~20123
工程表	平成24年度 20124~20133
	平成25年度 20134~20143
実施内容	平成26年度 20144~20153
	<p>人材・企業誘致活動の推進</p> <p>● 連携企業誘致活動の検討 ポータルサイトの整備、相談窓口の充実化の検討</p> <p>● 起業支援・人材育成事業の実施</p> <p>○ 各市町村による人材・企業誘致活動の実施（随時） ○ 三遠南信地域社会雇用創造成業の実施（H22.3.24~24.3.31） ○ 三遠南信地域社会雇用創造成業フォローアップ事業の実施（H24~H25） ○ 三遠南信地域資源情報データベースをSENAホームページに掲載（H23.6.6~）</p>
推進主体	<p>＜ 自治体、商工会議所・商工会、金融機関、企業 ＞</p> <p>自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。</p>

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	8			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2-③			
推進方針	特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携			
主要施策	世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	● 広域拠点づくり、産業クラスターづくりの推進 ● 三遠南信（浜松・豊橋・飯田）地域基本計画に基づく事業の推進（26年度まで）			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○三遠南信バイタライゼーション協議会の各種事業の実施（～H21） ○三遠南信クラスター推進会議の各種事業の実施（H22～） ○光・電子技術イノベーション創出拠点支援事業の採択（H21.6.18） ○地域イノベーション戦略推進地域に選定 浜松・東三河ライフオートニクスイノベーション（H23.8.1） ○地域イノベーション戦略支援プログラムに採択される（H24.6.1） ○三遠南信地域基本計画 同意（H22.3.25～H26.3.31） ○三遠南信地域産業活性化協議会（浜松市・豊橋市・飯田市）の事業（H22～） ○はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験（H22.5.17～H24.8.31） 三遠南信地域への活動エリアの拡大（H23.9～） 			
推進主体	< 産業支援機関、自治体、大学 > 三遠南信クラスター推進会議が中心となり、浜松商工会議所、豊橋商工会議所、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地域産業振興センター等と連携しながら推進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	9		
区分	技		
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成		
項目	2-④		
推進方針	三遠南信地域大学フォーラムの設置		
主要施策	三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	<p>連携組織設置の検討・準備</p> <p>大学フォーラム準備検討会の開催（愛知大学、豊橋技術科学大学、静岡文化芸術大学の学長等による検討）</p> <p>大学フォーラム準備検討会</p> <p>大学シンポジウム開催準備会</p> <p>大学シンポジウム</p>	<p>大学連携検討会議</p> <p>三遠南信地域産学官人財育成円卓会議の開催</p>	<p>平成26年度 20144~20153</p> <p>↑</p>
実施内容	<p>○大学フォーラムの設置に向けた検討会議の開催（H22.7~H23.4 3回開催）</p> <p>○大学シンポジウム開催準備会の開催（H23.7~H24.2 4回開催）</p> <p>○三遠南信地域大学シンポジウム開催（H23.10.24）</p> <p>○三遠南信地域における官民連携主体による地域づくり推進事業（国土交通省事業）（H23~H24）</p> <p>○三遠南信地域産学官人財育成円卓会議の開催（H25.2.1、H26.2.17）</p>		
推進主体	<p>大学、企業、自治体、商工会議所・商工会、住民団体</p> <p>三遠南信地域をフィールドとする大学等を中心に、事業内容を検討します。</p>		



分科会

資料

第22回三遠南信サミット2014in浜松 「風土」合同分科会 報告

テーマ：塩の道エコミュージアムの形成
～祭り街道を活かす活動について～

- 平成26年10月27日(月)
- オークラアクティシティホテル浜松

三遠南信住民ネットワーク協議会 代表世話人 田中孝治

交流 発酵 熟成



遠州大念仏



和合の念仏踊り

**遠州大念仏
和合の念仏踊り**
和合の開祖、宮下家が
出身地の遠州から伝え
たとも。



花祭り(豊根村)



花祭り(東栄町)

花祭りの世界
伊勢流神楽の流れ
とも。愛知県北設楽
郡、浜松市山間部、
飯田市などに類似
の祭り。

三遠南信は、

遠州街道(現国道151号)、秋葉街道(152号)で東海や京・大坂と結ばれてきた。

道によって東海、上方から伝播した文化が隔絶された山間地故に、守られてきた。

新東名、三遠南信道、リニアは、

新たな道使いの時代へ！！

人 もの 情報

人が動けば、ものと情報が動く。

ものが動けば、人と情報が動く。

情報が動けば、人とものが動く。

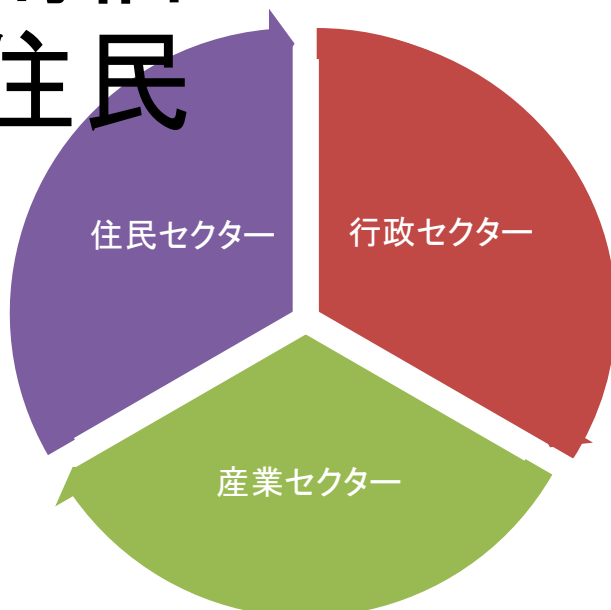
道使い力 地域に問われる道使いの知恵

ハイウェイとバイウェイ(旧道、わき道、枝道)の連携
ハイウェイの効果(広域性、利便性、時間短縮)を活かす地域の力



『道』の往来で生きてきた三遠南信の土地柄

三遠 南信 住民



『地域の活性化と
は・・・』

住みたいと思う人
が、住み続けられる
こと。

地域を支える「三位一体」の関係

三遠南信住民 ネットワーク協議会



- 2005年
第13回サミット 住民セッションの設置

転勤、移動、昇進もなく。

- 2012年
三遠南信住民ネットワーク協議会 設立

- 2014年
第22回 三遠南信サミット 住民セッション
加盟団体・個人 51団体・個人

平成26年4月1日現在



寄って、たかって、盛り立てよう！！

年長者の経験と知恵

若者の感性と行動力

活動 方針

平成26年度

三遠南信「地縁店」の展開

ー高度差を活かした特産品アンテナショップー

- 東三河店 道の駅「もっくる新城」（新城市）**要望中**
- 遠州店 浜松まちなか軽トラ市
- 南信州店 天竜峡活性化センターアザレア

三遠南信「祭り街道」連携

ー地域のDNA＝祭りを「道の駅」で繋ぐー

- 遠州街道（国道151号）●秋葉街道（152号）●姫街道
- 新東名の開通と三遠南信道路 新たな道路圏の形成と仲間入り
- 「道の駅」第2ステージ 地域のゲイトウェイと地域連携の拠点

三遠南信「芸術」「スポーツ」街道

ー地域文化とスポーツで繋ぐー

- 「志多ら」浜松後援への協力など、「催し」の相互応援
- サッカーを通じた地域交流

地縁店

ものが動けば、人と情報が動く。

「地産地消」を超えて「互産互消」へ



道の駅「もっくる新城」(完成予想図)

三遠南信のゲイトウェイへの期待

標高差 500m 浜松市と飯田市

気候・風土の異なる特産品 紹介・販売

三遠南信のアンテナショップ

三河 道の駅「もっくる新城」 要望中

遠州 遠州まちなか軽トラ市 常設店検討中

信州 天竜峡活性化センターアザレア

祭り街道

情報が動けば、人ともものが動く。



「道の駅」第2ステージ

求められる高次機能
地域のゲイトウェイへ

三遠南信のDNA(遺伝子)『祭り』を道で結び、
「道の駅」などで発信。

お願いしたい施設

三河 道の駅「もっくる新城」 道の駅「グリーンポート宮嶋」
「花祭会館」・「花まつりの館」(東栄町)

遠州 道の駅「くんま水車の里」 道の駅「天竜相津花桃の里」
「奥浜名湖田園空間博物館」(浜松市)

信州 道の駅「信州新野千石平」
阿南町歴史民俗資料館(阿南町)

「芸術」「スポーツ」街道

2014年 6月22日(日)
アクトシティ横浜 大ホール

全席 4,500円
A席 4,000円
B席 3,000円

10/12日 10/13月・祝 祝賀行事
奥三河のき山学校 (東栄町旧東部小学校)
奥三河町下宿部137-1 とうらい(遠東より東)40号
tehohe.com

12日(日) 13:30~受付
13:00開会式
13:30~ ワークショップ
15:30~ 志多ら&チェンソーアート実演

13日(月・祝) 9:00~受付
9:30 チアニングソルフラワー
10:00 体験ワークショップ
12:00 お昼休み
13:30 体験ワークショップ発表
14:30 スペシャルライブ
志多ら×Kogakusyu用

スペシャルライブ!
てほへ、人形作り
奥三河の自然を体感してみよう!
奥三河のつばき、樟アトナル木
てほへで歌を聴こう
アリアリカダンスで奥三河の自然を
楽しむワークショップ

木造校舎に遊びに行こう!

天竜川の最北端・ミナの森を文化村にするのか!!

ミナノ森のちっちゃな展覧会
こてんこもり

2014年 ミナノ森・はしうれ小学校

4/26(土)	4/27(日)	4/28(月)	4/29(火)
5/3(土)	5/4(日)	5/5(月)	5/6(火)
5/10(土)	5/11(日)	5/12(月)	5/13(火)
5/17(土)	5/18(日)	5/19(月)	5/20(火)
5/24(土)	5/25(日)	5/26(月)	5/27(火)

新しい命をいただく祭礼
食のおてし

平成26年 11月8日(土) 9:30~13:00 開場 9:00 開演 9:30

ゆうゆ〜らんど阿南 かじかの湯 観覧 80食 参加費用 3500円

主催 南信州文流の輪 主幹(総幹) 飯沼伸也(事務局) TEL 0265-22-4511 FAX 0265-53-4511

祭りと食の融合「祭り街道弁当」フェア 参加申込書 食費 80食

「催し」応援団



政策の基本方針 3：塩の道エコミュージアムの形成

①「塩の道」風景街道の体制づくり

三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。

【活動イメージ】

- 国土交通省の「日本風景街道」に登録し、具体的な連携活動に取り組みます。
- 三遠南信「塩の道」風景街道の風景価値を高めるための地域連携・発信活動に取り組みます。
- 三遠南信「塩の道」風景街道の地域資源を掘り起こし、磨き、活かす活動に取り組みます。
- 三遠南信「塩の道」風景街道の自然、歴史、伝統文化、暮らしを学び、伝える活動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。

②地域資源を活かす鉄道の有効利用

塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。

【活動イメージ】

- 鉄道事業者と連携を取りながら、地域内を結ぶ鉄道と観光資源のネットワーク化を検討します。
- JR東海道線の増便などの鉄道の利便性を向上させます。
- JR飯田線、天竜浜名湖線の観光利用を地域運動として促進することを検討します。
- 豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等鉄道資源を利用したイベントの開催を検討します。

【推進主体とその活動】

- 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進

三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。

【活動イメージ】

- 海外で開催される国際旅行博覧会等に参加し、三遠南信地域の観光PRをするため、外国語広域観光マップ等を活用して観光情報発信を進めます。
- 複数の外国語で閲覧できる三遠南信観光ポータルサイト（インターネットホームページ）を作成します。
- 地域の観光関連事業者と連携して、外国人観光客を対象とした三遠南信地域を巡る観光モデルツアーの商品化を検討します。
- 海外へ三遠南信観光プロモーション団を派遣します。
- 富士山静岡空港、中部国際空港への国際定期便の増便、路線増設、国際チャーター便の運行を航空会社、空港会社、国・県、旅行会社等へ働きかけます。

【推進主体とその活動】

- 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。

④ 三遠南信アンテナショップの開設

三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。

【活動イメージ】

- 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市の中心市街地等へ、三遠南信地域の特産品の展示・販売、観光情報、地域情報の発信等を行うアンテナショップ（仮称：三遠南信ふれあいショップ）の開設を検討します。
- 大都市部（東京、名古屋、大阪等）での三遠南信アンテナショップの開設を検討します。

【推進主体とその活動】

- 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	10		
区分	風土		
政策の基本方針	塩の道工コミュニティアムの形成		
項目	3-①		
推進方針	「塩の道」風景街道の体制づくり		
主要施策	三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往來の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。		
年度	平成23年度まで 20094~20123 デジタルアーカイブ作成のため データ収集	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	<p>● 県境を越えた連携事業の推進 地域資源などの情報整理・発信</p>		
実施内容	<p>○デジタルアーカイブの作成に向けた画像データの収集</p> <p>○秋葉街道信遠ネットワークによる活動 (H21~)</p> <p>○祭り街道フェスティバル実行委員会主催により、祭り街道制定10周年記念「祭り街道フェスティバル (H21.9.20)」を阿南町 (新野千石平道の駅) において開催。</p> <p>○三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会主催により、「第16回ふるさと歌舞伎交流大会 (H21.9.13)」「第17回ふるさと歌舞伎交流豊橋大会 (H22.11.27)」「第19回ふるさと歌舞伎交流下條大会 (H22.11.7)」「第18回ふるさと歌舞伎交流豊橋大会 (H25.11.17)」開催。</p> <p>○豊橋市中央図書館主催により、「第13回三遠南信地域資料展 (H22.1.30~2.28)」「第14回 (H23.2.5~3.6)」「第15回 (H24.2.4~3.4)」「第16回 (H25.2.9~3.10)」「第17回 (H26.2.8~3.9)」を豊橋市中央図書館において開催。</p>		
推進主体	<p>< SENA、自治体、商工会議所・商工会、住民団体 ></p> <p>三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。</p>		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	11			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道工コミュニティアムの形成			
項目	3-②			
推進方針	地域資源を活かす鉄道の有効活用			
主要施策	塩の道工コミュニティアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。			
年度	平成23年度まで 20094~20123 各地域ごとの事業推進	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	●	●		
		●		
			●	
				●
実施内容	○天竜浜名湖線市町会議による天竜浜名湖線の活用促進事業（H20～）			
推進主体	< SENA、鉄道業者、観光会社、自治体、商工会議所・商工会 > 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	12			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道工コミュニティの形成			
項目	3-③			
推進方針	海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進			
主要施策	三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	● 国際インバウンドツーリズムの推進 海外旅行代理店、ランドオペレーターへの働きかけ	● 海外への観光情報の発信と外国人観光客誘致等の検討		
実施内容	○三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会 海外ランドオペレーター現地視察招聘事業 (H21.12.7~12.11) (H22.11.29~12.3) ○三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会 インバウンド商談会 (毎年) ○三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会 三遠南信・伊勢志摩ロードマップ作成事業 (H26~)			
推進主体	△ 自治体、商工会議所・商工会、観光関係者 > 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	13			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道工コミュニティアムの形成			
項目	3-④			
推進方針	三遠南信アンテナショップの開設			
主要施策	三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	<p>●</p> <p>社会実験の実施（東三河） 三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施 社会実験の実施（南信州） 社会実験の評価 24年度以降の事業計画の検討</p> <p>●</p> <p>事業計画の分析・検討</p> <p>▲</p>			
実施内容	<p>○平成20年度広域ブロック自立施策等推進調査「社会実験&情報発信」 浜松市（H22.1.24~1.25）、東京都板橋区（H22.1.31~2.1）</p> <p>○平成21年度広域地方計画先導事業「社会実験&情報発信（豊橋市）」（H22.3.20~3.21）</p> <p>○平成21年度広域地方計画先導事業「ガイドブックの発行」（H22.3.25）</p> <p>○各団体による物産展の実施</p> <p>○三遠南信地域経済開発協議会により三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施（H22.7.1~11.30）</p> <p>○SENA主催により「三遠南信イチャオシ逸品展」を飯田市で開催（H23.8.6~8.7）</p> <p>○SENA平成24年度三遠南信アンテナショップ調査研究業務の実施（H24）</p> <p>○三遠南信アンテナショップ（ネットショップ）実施検討（H25~）</p>			
推進主体	<p>＜ SENA、自治体、商工会議所・商工会、観光関係者、生産者、有識者 > 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。</p>			



資 料

浜松市の中山間地域振興

浜松市 市民部長 岩井 正次

1

I. 浜松市の中山間地域

- 天竜区(全域)
- 北区の一部(引佐町北部)



2

数値で見る浜松の中山間地域

中山間地域と全市域の比較

	中山間地域	浜松市全域	占有割合
面積	1,022.81km ²	1,558.04km ²	65.65%
森林面積	949.99km ²	1,029.20km ²	92.30%
人口	35,817人	810,847人	4.42%
高齢者人口	14,022人	198,829人	7.05%
高齢化率	39.1%	24.5%	—
人口密度	35.02人/km ²	520.43人/km ²	—

* 人口は住民基本台帳(H26.4.1現在)、森林面積は森林林業ビジョンより

3

こんなところ



北区引佐町渋川
のどかな里山・田園風景

4



天竜区水窪町大沢
急斜面の茶園

5

Ⅱ. 現状と課題

良いところ・果たしている役割

- 水と緑、自然が豊か
- 農山村の風景は、日本人のふるさと
- 古きよき伝統文化が残されている
- 互いに助け合う近隣社会が機能している
- 都市で消費する水や電気の供給源となっている
- 森林が防災機能を担っている
- 森林や農地が二酸化炭素を吸収している

6

困っているところ

- 人口流出による過疎化・高齢化が止まらない
- ひとり暮らしの高齢者が増加している
- 基幹産業である林業・農業が低迷している
- 森林・農地の公益的機能が低下する恐れがある
- インフラ整備が遅れている
- 近隣集落機能が低下してきている
- 中山間地域に暮らす意義と誇りが失われる恐れがある

7

Ⅲ. 今後の対策

浜松市中山間地域振興計画

～山里いきいきプラン～

趣 旨

■ 過疎化・高齢化の進行による地域社会の生活基盤の脆弱さを克服し、住民がいきいきと住み続けられる中山間地域を目指す。

計画期間

■ 平成22年～平成26年（5年間）

事業名

内容

交流・居住促進事業	田舎暮らしプロモーション・中山間地域交流ネットワーク
生活支援事業	浜松山里いきいき応援隊・緑のふるさと協力隊
中山間地域まちづくり事業	地域密着型NPO法人への活動資金の交付
地域公共交通維持事業	交通システムの確立
地上デジタルテレビ放送難視聴地域解消事業	デジタル放送共聴施設
生活用水応援事業	飲料水供給施設の確保
民間移動販売・共同購入支援事業	移動販売の仕組み作り
環境に配慮した森林管理推進事業	森林の認証
浜松市鳥獣被害防止計画策定事業	計画策定・実施

8

山里いきいき応援隊の活用

外部人材活用制度を利用し、若者の目線による地域資源の発見や、地域への提案を行う。
また、地域づくりの実践者として「アドバイザー」を選任し、両制度の隊員を支援していく。



山里いきいき応援隊 6名

(総務省 地域おこし協力隊)

- ・地域課題の発見・解決へ向けた活動
- ・地域の祭事の復活
- ・特産品商品開発
- ・集落の支援活動
- ・地域の農林作業や祭事等の手伝い等による地域活性化

天竜 春野 佐久間 水窪 龍山 引佐

中山間地域アドバイザー 3名

(浜松市)

【隊員OB、学識経験者】

- ・各隊員の活動支援
- ・市が実施する交流・定住事業への参画
- ・本市の中山間地域の魅力のPR活動

隊員OB 男 隊員OB 女 大学教員 男



浜松市山里いきいき応援隊



浜松市山里いきいき応援隊



佐藤 美海

出身地：埼玉熊谷市
趣味：スポーツ観戦、料理作り、楽器演奏、読書

田浦和生で生まれ、2010年埼玉大学に入学。在学中は教育学部にて国語教育を専攻し、小中高の教員免許を取得。埼玉大学を卒業後、2014年6月から浜松市が行う「山里いきいき隊」として水窪地域で活動中。埼玉以外の違う世界を見てみたいという活動への参加を決意。初の一人暮らしで慣れないことだらけですが、水窪の方々の懐かしさに助けられ日々奮闘中です！



出身地：山がちな埼玉県で、まさに自然と共存している地域です。キャンプや登山など自然と触れ合えるのが大好きです。また、高校時代や大学時代などの深い歴史のあるものも多くあるため、さまざまな角度から楽しみたいだけの地域となっています。



堀田 侑子

出身地：静岡県藤枝市
趣味：田舎暮らし、料理、竹、アロマ、多肉植物作り、人工美林作り。

歴史で暮らしたことがきっかけで、森、木が大好きになる。静岡に戻り、葉枯らし天然乾燥の木材屋に就職。そこで、キコリと森のツアーを開発。もっと「伝える」仕事をしたと富士山周辺で自然学校職員に転職。自然ガイド、環境教育、デザイン、森づくり活動、地域復興に携わってきた。そして現在、天竜美林に思いこがれて龍山へ。



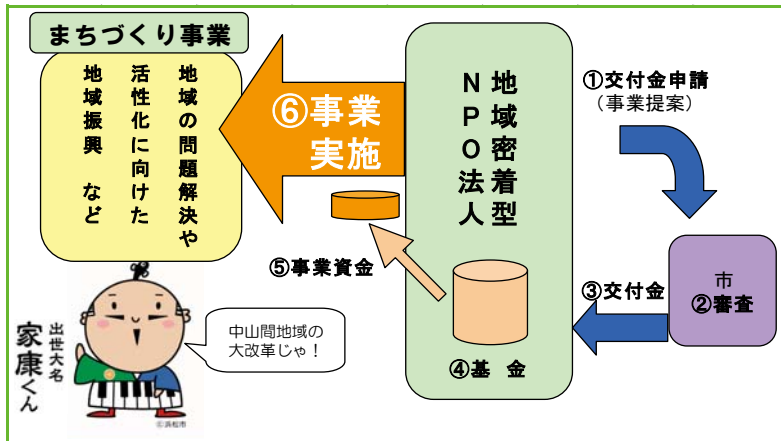
出身地：静岡県掛川市。自然が溢れる田舎で育ち、文筆活動が大好き。森林浴や山菜採り、自然の恵みを感じながら龍山。そんな自然の恵みを使って、写真集を作っています。フルベニーや野いちごジャム、缶詰「柚子ぽたぽた」、手鞠の山のお茶等！元気な、お母さん達が活躍中よー！

中山間地域まちづくり事業

中山間地域内に所在するNPO法人が、中山間地域の問題解決や振興のための事業を行う際に、その活動資金の原資となる基金造成資金を交付するもの。交付を受けた事業者は、造成した基金を基に、申請した事業を主体的に実施し、地域の様々な課題を地域と共に解決し、中山間地域の発展に取り組む。

交付金総額 6億円 !!

平成33年度まで実施 !!



平成24年度交付事業 85,544千円

- WEB版道の駅による天竜区観光産業活性化事業
- 中山間地域自立高齢者支援事業
- みさくぼの自然と文化を活かしたまちづくり事業

平成25年度交付事業 90,934千円

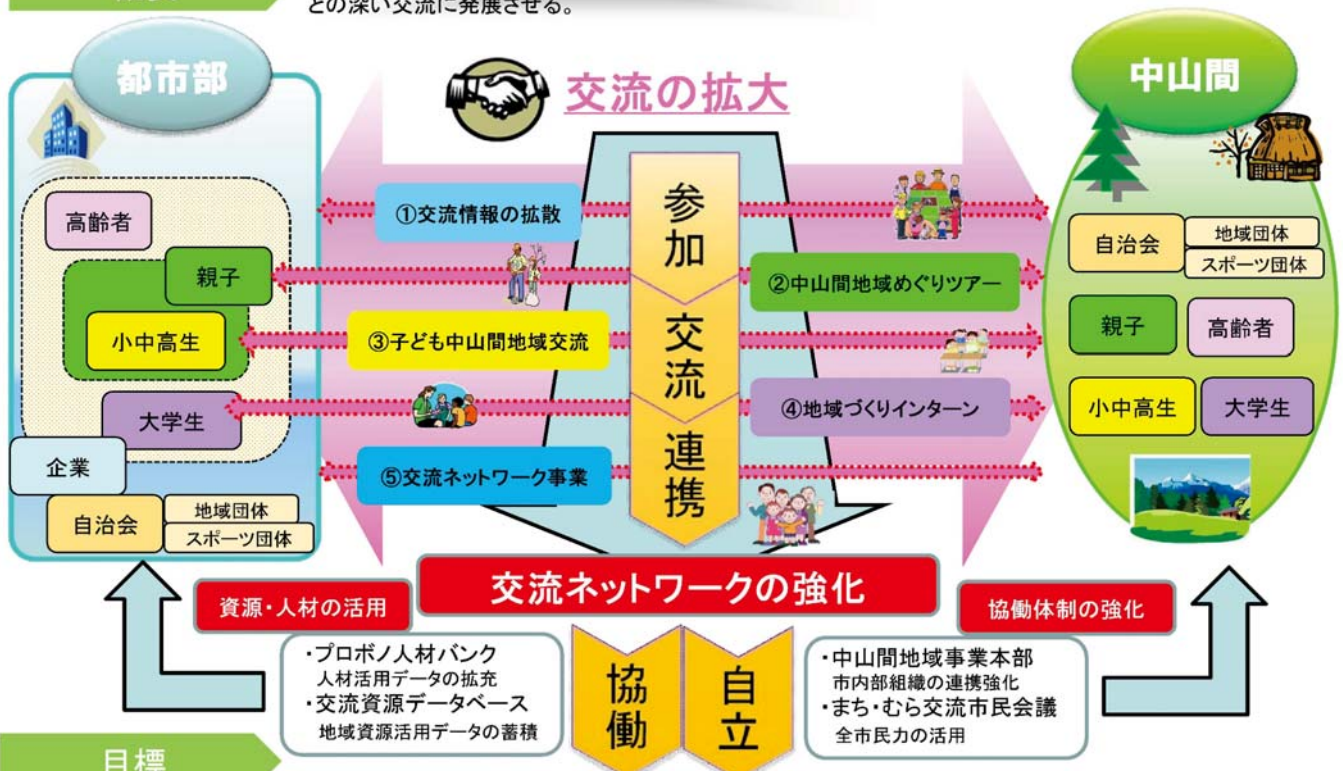
- 元気シニアによる地域資産継承・活用事業
- 遊休農地を活用したそばの里づくり
- 田舎ゆったりプロジェクト
- 地域文化を核に都市間交流

11

市内間交流を核とした中山間地域の定住交流促進事業

概要

気軽な交流のきっかけ作りからはじめ、中山間地域と都市部との深い交流に発展させる。



・中山間地域と都市部の交流拡大により、持続的な連携が確立され、協働による地域の自立にツナグ！

都市部と中山間地域の交流促進

市内間交流を核とした中山間地域の定住・交流促進施策の推進体制を確立する。



市内間交流 により
都市と中山間 が win win!!



13

ご清聴 ありがとうございました。

浜松市 市民部 市民協働・地域政策課
中山間地域グループ
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
TEL:053-457-2243 FAX:053-457-2750
E-mail shiminkyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

14

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針4：中山間地域を活かす流域モデルの形成

①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進

地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 「健全な水循環」に係る産・学・官・民による情報共有・情報交換ができる場づくりを進めます。
- ・ 産・学・官・民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトを推進します（遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等）。

【推進主体とその活動】

- ・ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。

② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。

【活動イメージ】

- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等を行い、空き家、貸し家、遊休施設等の施設利用情報のデータベース化に取り組みます。
- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設（廃校、旧役場、空き家等）の整備を検討します。
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介を不動産会社等の民間企業に働きかけます。
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供に取り組みます。
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 上下流域自治体による検討体制を設けます。



政策の基本方針 5：広域連携による安全・安心な地域の形成

① 医療分野の県境を越える連携の促進

住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。

【活動イメージ】

- 公立病院を中心とした医療施設の広域利用を進めます。
- 医科大学と三遠南信地域自治体との連携を促進します。
- 県境近接地域で、休日診療、夜間診療の連携が取れていないため、隣接県の医療施設の情報発信、医療施設利用の連携を進めます。
- ドクターヘリの県境を越えた活動を支えるため、中山間地域での中継基地（燃料補給等）設置を検討します。
- 情報通信技術を活用した遠隔地医療診断を検討します。

【推進主体とその活動】

- 自治体を中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進

三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。

【活動イメージ】

- 公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築を検討します。
- 公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限を撤廃するとともに、自地域住民並の利用料金の設定を検討します。

【推進主体とその活動】

- 自治体を中心となって、事業を推進します。

③ 県境を越える防災体制の強化

東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。

【活動イメージ】



- 地域の防災力の向上のため、自主防災組織の充実・連携に取り組みます。
- 「三遠南信災害時相互応援協定」において、災害廃棄物の相互処理など、必要な項目の追加を検討します。
- 広域防災拠点の相互連携を強化するため、港湾機能、道路機能（防災道路、緊急輸送路等）の充実を図ります。

【推進主体とその活動】

- 自治体を中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	14			
区分	山			
政策の基本方針	中山間地域を活かす流域モデルの形成			
項目	4-①			
推進方針	「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進			
主要施策	地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123			
工程表	 県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プランの実施	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
	 各団体による国への働きかけ			
実施内容	○中部圏広域地方計画（三遠南信流域都市圏活力向上PJ：天竜川流域における山地から海岸までの一貫した総合的土砂管理や多様な主体による上下流連携の促進） ○県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン研究会による報告（H23.3.30） ○豊川水系総合開発促進期同盟会、愛知県豊川改修工事促進期同盟会、東三河県営水道受水団体協議会、豊川用水二期事業促進協議会、東三河商工会議所・商工会による設楽ダムによる要望活動（H21.7.6、H21.7.8、H21.10.19、H22.5.11、H23.7.5、H23.9.28、H24.7.31、H25.1.22、H25.5.31、H25.7.31、H25.10.1、H25.11.14、H26.6.25、H26.8.6）			
推進主体	< SENA、自治体、商工会議所・商工会、大学、環境団体、国、県 > 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	15			
区分	山			
政策の基本方針	中山間地域を活かす流域モデルの形成			
項目	4-②			
推進方針	上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備			
主要施策	下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	●各団体による取り組み ●各団体の連携による事業の検討 データベース化、情報発信機能、活用支援体制の検討	●各団体による取り組み ●各団体の連携による事業の検討 データベース化、情報発信機能、活用支援体制の検討	推進体制、データベース化、整備方針、仲介機能、情報発信機能、活用支援体制の検討	
実施内容	<p>○東三河シニアリフレッシュ事業（H21.10~21.11）（H22.10~22.11） 「極・奥三河」地域体験プログラム（H23.7~23.11）（H24.7~11）（H25.8~11）</p> <p>○南信州定住自立圏構想の取り組み（H21.3.24~） 定住自立圏形成協定の締結（H21.7.14）救急医療体制の確保等に圏域内で連携して取り組む。 病児・病後児保育事業（H22.10.12追加協定）、図書館ネットワークシステムの構築（H22.12.27、H25.12.16追加協定）、成年後見支援センターの設置（H25.3.27追加協定）</p> <p>○浜松市中山間地域振興計画の推進（H22.4.1~）</p>			
推進主体	<p>< SENA、自治体、所有者、管理者、地域住民、企業、商工会議所・商工会 > 上下流域自治体による検討体制を設けます。</p>			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	16
区分	住
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成
項目	5-①
推進方針	医療分野の県境を越える連携の促進
主要施策	住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。
年度	平成23年度まで 20094~20123
工程表	平成24年度 20124~20133
	平成25年度 20134~20143
実施内容	平成26年度 20144~20153
推進主体	

●関係者への働きかけ

設置に向けた準備
広域利用、大学病院との連携、
情報発信、中継基地設置、遠隔
医療の検討・研究

○医療機関、休日夜間緊急医の検索システムの活用
(なかの医療情報Net) (愛知県救急医療情報システム) (医療ネットしずおか)
○浜松市と豊橋市、新城市、南信州広域連合による航空消防応援協定の締結 (H22.3.30)
○浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市による航空消防応援協定の締結 (H22.6.29)
○浜松市、新城市、設楽町、東栄町、及び豊根村の消防相互応援協定 (三遠南信自動車道に関する事項を加え再締結
H24.3.4)

く 自治体、医療機関、医師会、大学、SENA >
自治体が中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	17			
区分	住			
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成			
項目	5-②			
推進方針	三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進			
主要施策	三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123 公共施設の広域的利用の推進	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	<p>公共施設情報の収集、データベース化、ポータルサイトの構築、広域的な利用の仕組みづくりの検討</p>			
実施内容	<p>○浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「ミュージアム・サミット美の競演ー三遠南信交流展ー」の開催 豊橋市美術館 (H21.10.10~11.15)</p> <p>○浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「ミュージアム・サミット美の競演ー三遠南信交流展ー」の開催 飯田市美術館 (H22.9.11~10.11)</p> <p>○浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「三遠南信交流展 ミュージアム・サミット-美の競演」の開催 浜松市美術館・秋野不矩美術館 (H24.2.24~3.25)</p>			
推進主体	<p>＜ 自治体、地域住民 ＞ 自治体を中心となって、事業を推進します。</p>			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	18			
区分	住			
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成			
項目	5-③			
推進方針	県境を越える防災体制の強化			
主要施策	東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	● 圏域内消防の広域連携活動 (合同会議 三遠南信地区消防本部の開催) ● 圏域内消防の広域連携活動 (三遠南信地域消防連絡会の開催)	● 連携強化、充実に向けた取り組み ○ 協定への必要な追加項目の検討 ○ 防災に関する関係機関の相互協力の充実		
実施内容	<p>○三遠南信災害時相互応援協定 (H8.7~)</p> <p>(H11年：豊橋市へ災害派遣活動実施、H22年：飯田市へ災害派遣活動実施)</p> <p>○航空消防応援協定締結 (浜松市と東三河5市町村及び南信州14市町村) (H22.3.30)、施行 (H22.7.1~)</p> <p>○航空消防応援協定締結 (浜松市と東三河3市) (H22.6.29)、施行 (H22.7.1~)</p> <p>○「合同会議 三遠南信地区消防本部」での準備を経て、22年度「三遠南信地域消防連絡会」発足 (H22.7.30)</p> <p>○H23.3.30浜松市、南信州広域連合航空消防応援協定に基づき消防航空隊の出動要請があり消火活動を実施 (豊丘村)</p> <p>○浜松市、新城市、設楽町、東栄町、及び豊根村の消防相互応援協定 (三遠南信自動車道に関する事項を加え再締結 H24.3.4)</p>			
推進主体	<p>＜ 自治体 (消防・防災・環境)、自主防災会、消防団 ></p> <p>自治体を中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します。</p>			

三遠南信地域連携ビジョン 概要版

三遠南信地域連携ビジョン概要版

平成20年3月策定

—世界につながる日本の中央回廊— 三遠南信 **250** 万流域都市圏の創造

三遠南信地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなる3県の県境地域です。人口230万人、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。近年、市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

「三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—」をテーマとし、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を発揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。圏域の皆様には、「三遠南信地域連携ビジョン」にご理解をいただきますとともに、ビジョン推進に積極的なご参加をお願い申し上げます。

■ 三遠南信地域連携ビジョンを策定するに当たって以下の5つの目的があります。

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、**概ね10年間**とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定めます。

■ 策定体制

○三遠南信サミット

三遠南信地域の市町村長や議会、経済団体の代表、地域住民、国、県の関係機関などが一堂に集まり、平成5年度から毎年1回、地域の一体的な振興発展のために議論しています。この場で三遠南信地域連携ビジョンを審議し、決定しました。

○三遠南信地域連携ビジョン検討委員会

三遠南信サミットから委嘱を受けた地域住民や大学、経済界、行政の代表で組織し、オブザーバーである国、県の意見を反映しながら、検討案を策定し、三遠南信サミットへ提案しました。

○幹事会

三遠南信地域の行政、経済界、国、県の実務者レベルで組織し、検討委員会の審議に向け、関係間で調整しました。

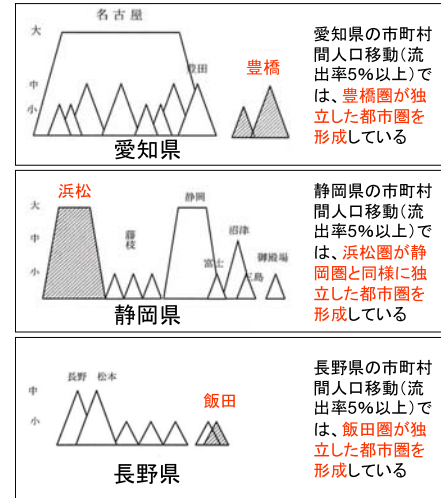
■ 三遠南信地域のポテンシャル

○都道府県に匹敵する経済規模

指標	順位	県名	規模	全国シェア (%)
事業所数※	17位	宮城県	107,565 事業所	1.8
		三遠南信	105,875 事業所	1.8
	18位	群馬県	101,876 事業所	1.7
製造品出荷額等	5位	埼玉県	138,021 億円	4.9
		三遠南信	137,974 億円	4.9
	6位	兵庫県	134,778 億円	4.7
年間商品販売額	17位	群馬県	60,455 億円	1.1
		三遠南信	58,822 億円	1.1
	18位	栃木県	54,723 億円	1.0
農業産出額	6位	愛知県	3,108 億円	3.6
		三遠南信	3,084 億円	3.6
	7位	熊本県	2,984 億円	3.5

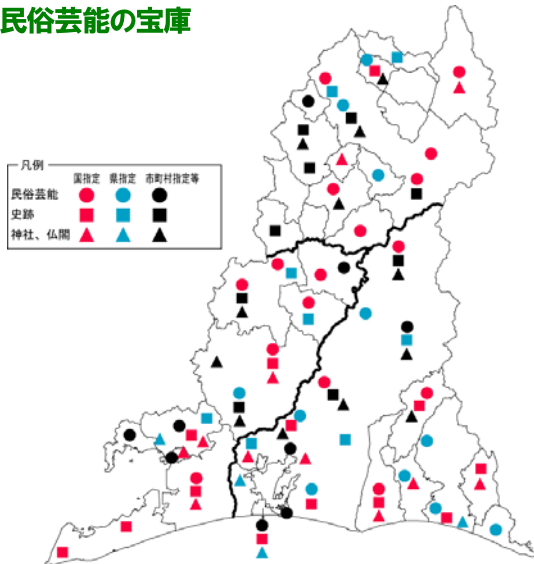
※事業所数は事業内容等不詳事業所を含む

○自立的な人口 230 万人の圏域

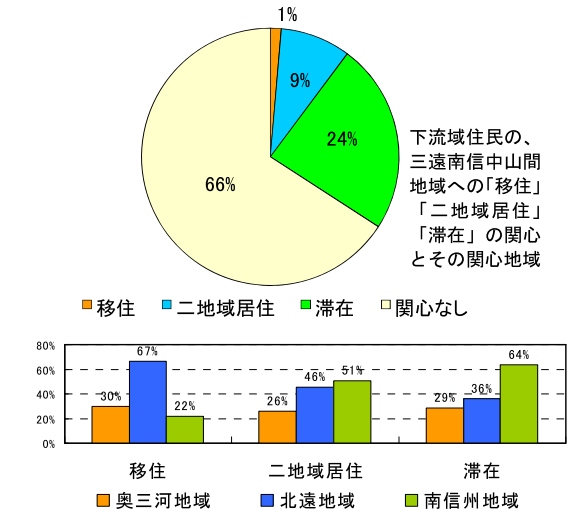


大：都市圏人口が100万人以上、核都市は50万人以上
中：都市圏人口が50万人以上、核都市は20万人以上
小：都市圏人口が10万人以上、核都市は5万人以上

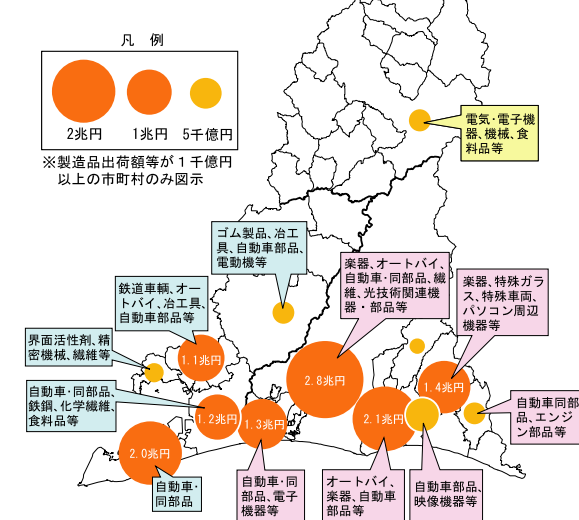
○民俗芸能の宝庫



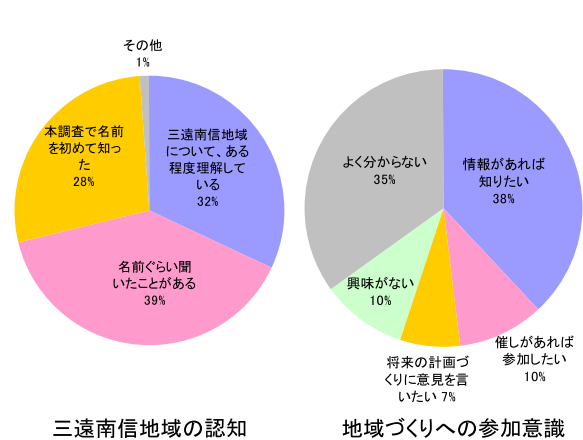
○下流域から上流域への定住指向の高まり



○特徴あるものづくり産業の集積



○三遠南信地域への高い関心



■ ポテンシャルから導き出される 5 つの課題

三遠南信地域のポテンシャルから、地域連携ビジョンを策定する上での課題として、次の5点を挙げます。

- 中部圏における「**自立した世界的都市圏**」としての機能強化
- グローバル化や産業構造に変化に対応した「**国際的な産業競争力**」の強化
- 自然や歴史に育まれた地域文化を活かした「**地域アイデンティティ**」の確立
- 天竜川・豊川流域圏において自然資源、人的資源、産業資源など補完と連携による「**流域循環圏**」の構築
- 道州制を見据えた「**県境を越える広域的な地域連携政策機能**」の構築

■ 三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信 250 万流域都市圏の創造 —世界につながる日本の中央回廊—



■ 目指すべき地域像

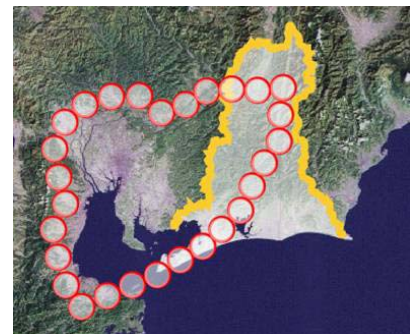
① 日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結びます。



② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築します。



③ 流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築します。



■ ゾーニング

三遠南信地域を東名高速道路、第二東名高速道路などを境界として、3つのエリアにゾーニングし、整備方針を掲げます。

①既存集積ゾーン

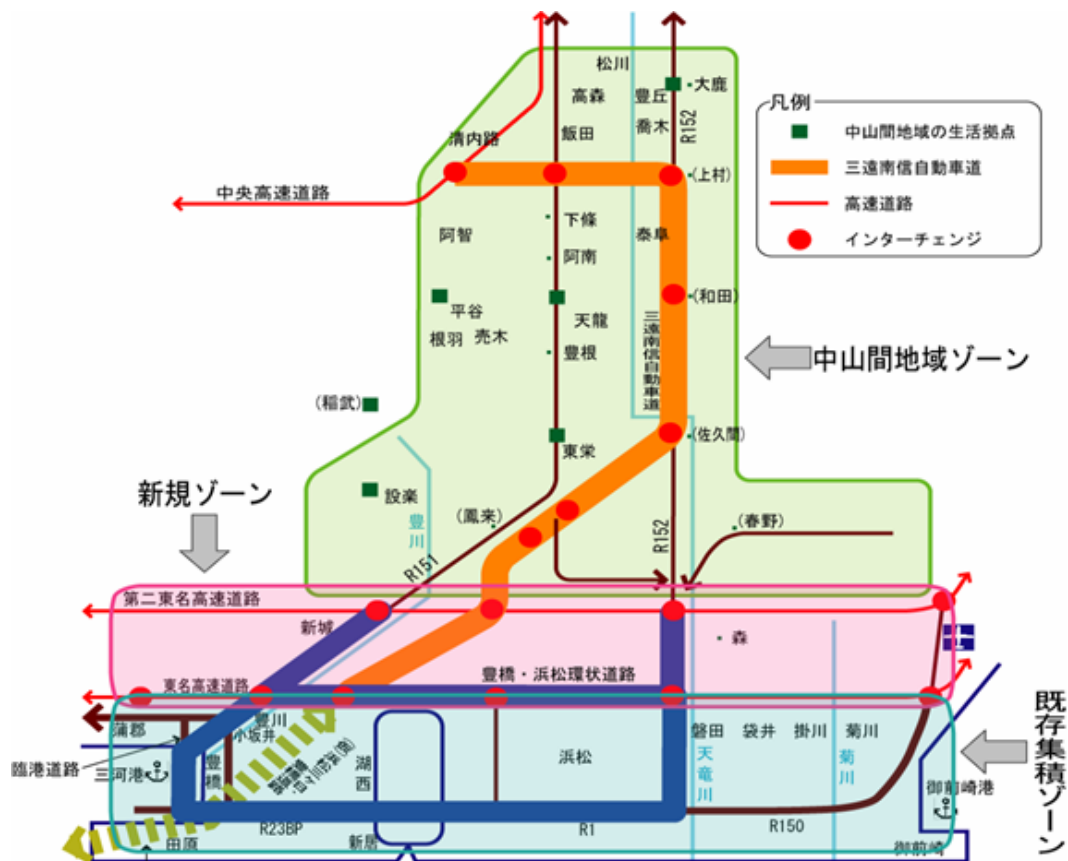
三遠南信地域南部の JR 東海道線、東名高速道路に沿った地域は、特色をもった都市が連続しており、高度な都市機能が集積しています。広域幹線道路として、東名高速道路や国道1号の東西幹線が地域を貫き、圏域の東西には三河港や御前崎港の国際港湾を擁しています。政令指定都市・浜松と中核市・豊橋とを広域交通網や情報網でより緊密に結びつけ、圏域の核として一体的な経済・文化圏を形成することにより、圏域全体の発展を牽引します。

②新規ゾーン

東名高速道路と第二東名高速道路に挟まれた地域で、住居系の郊外市街地と都市近郊農業地帯が混在する地域です。今後は、第二東名高速道路の開通に伴い、インターチェンジ周辺等への新たな産業集積が期待されます。浜名湖や地域の森林などの自然環境との調和を保ちつつ、バランスのとれた土地利用が必要です。

③中山間地域ゾーン

圏域北部の中山間地域は、過疎化・高齢化が進んでいる地域です。優れた自然環境の保全を基調とし、ライフスタイルの多様化に対応した交流人口の拡大を進めます。三遠南信自動車道の整備により、特色ある地域資源を活かすとともに、新規ゾーンや既存集積ゾーンとの活発な交流による地域振興が必要です。



■ 三遠南信地域連携ビジョンの5つの基本方針と重点プロジェクト

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けて積極的に推進します。

○連携事業の政策体系

テーマ	政策の基本方針	推進方針	主要施策
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 ―世界につながる日本の中央回廊―	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人とももの流動促進	三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備 高原新定住圏の基盤整備 県境を越える三遠都市帯の基盤整備
		情報の流動促進	中山間地域の情報基盤整備 県境を越える情報共有化の推進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進	人材・労働力の確保・育成 広域的な産業連携活動の推進 未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	特徴ある産業クラスターの形成 コミュニティ・ビジネスの育成 県境を越える大学・研究機関連携組織の形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信	歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり 多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり
		エコミュージアムのプラットフォームづくり	エコミュージアムのプラットフォームづくり エコミュージアムの担い手づくり 三遠南信地域ファンづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進 森林資源の有効活用 新エネルギー導入の推進
		流域定住推進モデルの形成	流域定住推進体制の整備 中山間地域での居住環境の確保
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	医療・福祉の連携 教育の連携 公共施設利用の柔軟性確保
		多文化共生の基盤づくり	多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化	広域的な防災体制の充実化

○重点プロジェクト

1 中部圏の中核となる地域基盤の形成

- ① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現
- ② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実
- ③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
- ④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
- ⑤ 県境を越えるマスコミの連携

2 持続発展的な産業集積の形成

- ① 三遠南信ビジネスマッチングの促進
- ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
- ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
- ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

3 塩の道エコミュージアムの形成

- ① 「塩の道」風景街道の体制づくり
- ② 地域資源を活かす鉄道の有効活用
- ③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進
- ④ 三遠南信アンテナショップの開設

4 中山間地域を活かす流域モデルの形成

- ① 「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
- ② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

5 広域連携による安全・安心な地域の形成

- ① 医療分野の県境を越える連携の促進
- ② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
- ③ 県境を越える防災体制の強化

■ 推進体制

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の設置

- ・ 平成20年度に「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」を設置します
- ・ 地域住民、大学、経済界、行政の代表者により組織します

○三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA セナ)の役割

- ・ 重点プロジェクトを推進します
- ・ 重点プロジェクトの評価・見直しを行います
- ・ 道州制等の国の動きに対する働きかけを行います
- ・ NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援を行います

○新連携組織への移行

- ・ 平成24年に、三遠南信地域連携ビジョンに基づいた連携事業を行うため、恒常的な新・連携組織を設置します



